# 事業報告書 2023

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

## Ⅰ. 法人の概要


学校設立の目的等…… 1
教育（研究）の特色 …… 2
設置する学校・学部・学科等 …… 2
設置する学校・学部・学科等の学生・生徒の状況 …… 3
設置する学校・学部・学科の入試結果 …… 4
役員の概要…… 5
評議員の概要…… 6
教職員の概要…… 7
施設等の状況…… 8


## Ⅱ.事業の概要


2023年度事業報告…… 9
1.改革路線の継続…… 9
2.盤石な財政基盤の確立…… 11
3.教育研究改革 …… 11
4.学生募集とキャリア支援 …… 13
5.学生支援の充実強化…… 14
6.併設校との中高大連携強化と
理系女子の育成…… 15
7.キャンパスや諸設備の整備 …… 15
8.リスクマネジメント体制の強化 …… 16
9.地域貢献・社会貢献 …… 16


## Ⅲ.財務の概要


2023年度 決算の概要 …… 17
資金収支計算書…… 18
事業活動収支計算書…… 19
貸借対照表…… 20
収益事業会計…… 21
学校別 事業活動収支内訳表…… 22
経年比較 資金収支計算書 …… 23
経年比較 事業活動収支計算書 …… 24
経年比較 貸借対照表 …… 25
経年比較 主な財務比率（経営上の課題と
今後の方針・対応方策） …… 26

その他…… 27
参考 財産目録の概要 …… 30

# Ⅰ．法人の概要

## 学校設立の目的等

**芝浦工業大学**

芝浦工業大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く理工学の研究を行い、世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工学教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的としています。

**芝浦工業大学大学院**

芝浦工業大学大学院は、理工学に関する理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的としています。

**芝浦工業大学附属高等学校**

芝浦工業大学附属高等学校は、教育基本法及び学校教育法に基づく併設型中高一貫校として、中学校を卒業した者に中学校教育の基礎の上に心身の発達に応じて高度な普通教育を施すことを目的としています。

**芝浦工業大学柏高等学校**

芝浦工業大学柏高等学校は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に基づく併設型中高一貫校として、中等普通教育の基礎の上に中学校を卒業した者に対し、高等普通教育を施すことを目的としています。

**芝浦工業大学附属中学校**

芝浦工業大学附属中学校は、教育基本法及び学校教育法に基づく併設型中高一貫校として、小学校を卒業した者に小学校教育の基礎の上に心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育を施すことを目的としています。

**芝浦工業大学柏中学校**

芝浦工業大学柏中学校は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に基づく併設型中高一貫校として、初等教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中等普通教育を施すことを目的としています。

## 教育(研究)の特色

芝浦工業大学（以下、本学）は、「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を建学の精神として、1927（昭和2）年に有元史郎によって、東京高等工商学校として創立されました。以来、この建学の精神のもと、実践型技術者として社会に貢献できる多くの卒業生を輩出し、社会の発展に貢献してきました。

現在、本学は工学だけではなく、理学やデザインの分野にも教育研究のフィールドを広げ、グローバル化を意識し「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材の育成」を人材育成目標として教育研究を進めています。

今後も、実学重視という建学の精神を尊重しつつ、世界水準の理工学教育の実践と学生の学修成果の質保証を約束し、世界レベルの研究拠点形成と、地域との連携による学生参加型研究を実践します。また、さまざまな国籍や男女が共同で参画できる多様な環境の中で教育研究を進めることにより、複雑多様化するグローバル社会において、世界の維持発展とイノベーション創出に貢献できる学生の育成を目指します。

芝浦工業大学附属中学高等学校では、理工系教育、大学連携教育、言語教育、グローバル教育、探究教育の５つを柱とし、理工系人材の育成を教育の根幹に据えています。芝浦工業大学の附属校として理工系の基礎を学び体験する授業は当然のことながら、コミュニケーションの根幹となる日本語・英語に加え、新たな可能性を生むコンピューター言語を早期に学ぶことで、世界に貢献する理工系人材育成を目指します。

「創造性の開発と個性の発揮」を建学の精神に掲げる芝浦工業大学柏中学高等学校は、自ら「問い」を立て「解決」できる人材の育成を目指し、SSH指定校として理数教育に特徴のある一貫校として発展してきました。近年はこの教育プログラムを充実させ、文系・理系の枠組みにとらわれない課題探究活動も実践しています。

## 設置する学校・学部・学科等

2023年度

| 設置する学校 | 学部・学科等 | 開校年 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 芝浦工業大学 | 工学部 | 1949（昭和24）年 | （豊洲キャンパス）<br>〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 |
| | システム理工学部 | 1991（平成 3 ）年 | （大宮キャンパス）<br>〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307 |
| | デザイン工学部 | 2009（平成21）年 | （豊洲キャンパス）<br>〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 |
| | 建築学部 | 2017（平成29）年 | （豊洲キャンパス）<br>〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 |
| 芝浦工業大学大学院 | 理工学研究科修士課程 | 1963（昭和38）年 | （豊洲キャンパス）<br>〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 |
| | 理工学研究科博士（後期）課程 | 1995（平成 7 ）年 | |
| 芝浦工業大学附属高等学校 | 全日制（普通科） | 1954（昭和29）年 | （芝浦工業大学附属中学高等学校 新豊洲校地）<br>〒135-8139 東京都江東区豊洲6-2-7 |
| 芝浦工業大学柏高等学校 | 全日制（普通科） | 1980（昭和55）年 | （芝浦工業大学柏中学高等学校 柏校地）<br>〒277-0033 千葉県柏市増尾700 |
| 芝浦工業大学附属中学校 | | 1982（昭和57）年 | （芝浦工業大学附属中学高等学校 新豊洲校地）<br>〒135-8139 東京都江東区豊洲6-2-7 |
| 芝浦工業大学柏中学校 | | 1999（平成11）年 | （芝浦工業大学柏中学高等学校 柏校地）<br>〒277-0033 千葉県柏市増尾700 |

## 設置する学校・学部・学科等の学生・生徒の状況

（2023年5月1日現在）

### 大学

（単位：人）

| 学部 | 学　科 | 入学定員数 | 総定員数 | 在籍数 |
|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 機械工学科 | 114 | 457 | 490 |
| | 機械機能工学科 | 114 | 457 | 487 |
| | 材料工学科 | 104 | 417 | 429 |
| | 応用化学科 | 104 | 417 | 436 |
| | 電気工学科 | 104 | 417 | 427 |
| | 情報通信工学科 | 104 | 417 | 463 |
| | 電子工学科 | 104 | 417 | 449 |
| | 土木工学科 | 104 | 417 | 411 |
| | 情報工学科 | 114 | 457 | 459 |
| | 先進国際課程※ | 9 | 27 | 26 |
| システム理工学部 | 電子情報システム学科 | 115 | 460 | 473 |
| | 機械制御システム学科 | 90 | 360 | 390 |
| | 環境システム学科 | 90 | 360 | 379 |
| | 生命科学科 | 115 | 460 | 458 |
| | 数理科学科 | 75 | 300 | 315 |
| デザイン工学部 | デザイン工学科 | 160 | 640 | 674 |
| 建築学部 | 建築学科 | 240 | 960 | 1,040 |
| **合計** | | **1,860** | **7,440** | **7,806** |

※先進国際課程は2020年10月開講

### 大学院

（単位：人）

| 理工学研究科 | 専　攻 | 入学定員数 | 総定員数 | 在籍数 |
|---|---|---|---|---|
| 修士課程 | 電気電子情報工学専攻 | 110 | 220 | 392 |
| | 材料工学専攻 | 40 | 80 | 97 |
| | 応用化学専攻 | 30 | 60 | 86 |
| | 機械工学専攻 | 85 | 170 | 264 |
| | 建設工学専攻※ | – | – | 4 |
| | システム理工学専攻 | 75 | 150 | 283 |
| | 国際理工学専攻 | 10 | 20 | 40 |
| | 社会基盤学専攻 | 25 | 50 | 63 |
| | 建築学専攻 | 110 | 220 | 344 |
| 博士（後期）課程 | 地域環境システム専攻 | 12 | 36 | 42 |
| | 機能制御システム専攻 | 15 | 45 | 46 |
| **合計** | | **512** | **1,051** | **1,661** |

※建設工学専攻は2021年度より募集停止

### 中学校・高等学校

（単位：人）

| 中学校・高等学校 | 入学定員数 | 総定員数 | 在籍数 |
|---|---|---|---|
| 芝浦工業大学附属中学校 | 160 | 480 | 489 |
| 芝浦工業大学柏中学校 | 180 | 540 | 589 |
| 芝浦工業大学附属高等学校 | 172 | 516 | 665 |
| 芝浦工業大学柏高等学校 | 296 | 888 | 902 |
| **合計** | **808** | **2,424** | **2,659** |

## 設置する学校・学部・学科の入試結果 －2024年度入試－

### 大学　一般入試（大学入学共通テスト利用方式（後期）除）

（単位：人）

| 学部 | 課程・学科 | 募集 | 志願者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 機械工学課程（基幹機械コース） | 78 | 2,578 | 678 |
| | 機械工学課程（先進機械コース） | 78 | 1,502 | 568 |
| | 物質化学課程（環境・物質工学コース） | 69 | 1,641 | 635 |
| | 物質化学課程（化学・生命工学コース） | 73 | 1,641 | 714 |
| | 電気電子工学課程（電気・ロボット工学コース） | 73 | 2,124 | 677 |
| | 電気電子工学課程（先端電子工学コース） | 73 | 1,703 | 490 |
| | 情報・通信工学課程（情報通信コース） | 73 | 1,976 | 535 |
| | 情報・通信工学課程（情報工学コース） | 78 | 3,512 | 614 |
| | 土木工学課程（都市・環境コース） | 69 | 1,661 | 509 |
| システム理工学部 | 電子情報システム学科 | 75 | 1,934 | 442 |
| | 機械制御システム学科 | 57 | 1,506 | 362 |
| | 環境システム学科 | 57 | 1,114 | 220 |
| | 生命科学科（生命科学コース） | 36 | 1,138 | 198 |
| | 生命科学科（生命医工学コース） | 36 | 1,064 | 249 |
| | 数理科学科 | 40 | 1,425 | 429 |
| デザイン工学部 | デザイン工学科（生産・プロダクトデザイン系） | 53 | 1,323 | 312 |
| | デザイン工学科（ロボティクス・情報デザイン系） | 53 | 1,111 | 341 |
| 建築学部 | 建築学科 APコース（先進的プロジェクトデザインコース） | 18 | 762 | 135 |
| | 建築学科 SAコース（空間・建築デザインコース） | 71 | 2,614 | 336 |
| | 建築学科 UAコース（都市・建築デザインコース） | 71 | 2,273 | 446 |
| **合計** | | **1,231** | **34,602** | **8,890** |

### 大学　一般入試（大学入学共通テスト利用方式（後期））

（単位：人）

| 学部 | 募集 | 志願者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 工学部 | 18 | 383 | 202 |
| システム理工学部 | 10 | 209 | 52 |
| デザイン工学部 | 4 | 69 | 36 |
| 建築学部 | 4 | 121 | 27 |
| **合計** | **36** | **782** | **317** |

### 大学　一般入試（2023年秋入試）

（単位：人）

| 学部 | 募集 | 志願者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 先進国際課程 | 9 | 44 | 14 |

（単位：人）

| 学部 | 募集 | 志願者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| **合計** | **1,276** | **35,428** | **9,221** |

### 大学院

（単位：人）

| 理工学研究科 | 専　攻 | 募集 | 志願者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|---|
| 修士課程 | 電気電子情報工学専攻 | 110 | 225 | 212 |
| | 材料工学専攻 | 40 | 61 | 61 |
| | 応用化学専攻 | 30 | 47 | 46 |
| | 機械工学専攻 | 85 | 157 | 152 |
| | システム理工学専攻 | 75 | 173 | 169 |
| | 国際理工学専攻 | 10 | 19 | 19 |
| | 社会基盤学専攻 | 25 | 43 | 42 |
| | 建築学専攻 | 110 | 181 | 179 |
| 博士（後期）課程 | 地域環境システム専攻 | 12 | 11 | 11 |
| | 機能制御システム専攻 | 15 | 11 | 11 |
| **合計** | | **512** | **928** | **902** |

※2024年春入学・2023年秋入学入試の合算

### 中学校・高等学校 一般入試

（単位：人）

| 中学校・高等学校 | 募集 | 志願者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 芝浦工業大学附属中学校 | 160 | 1,319 | 240 |
| 芝浦工業大学柏中学校 | 180 | 2,317 | 593 |
| 芝浦工業大学附属高等学校※ | 50 | 205 | 74 |
| 芝浦工業大学柏高等学校 | 120 | 1,200 | 380 |
| **合計** | **510** | **5,041** | **1,287** |

※推薦入試を含む

## 役員の概要

（2024年3月31日現在）

定員数　理事12人　　監事3人

| 区分 | 氏名 | 常勤・非常勤の別 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 理事長 | 鈴　見　健　夫 | 常勤 | 2009年6月　理事に就任<br>2012年6月　理事に重任<br>2015年6月　理事に重任（事業担当）<br>2018年6月　理事に重任（事業担当）<br>2020年2月　学校法人芝浦工業大学理事長に就任<br>2021年6月　学校法人芝浦工業大学理事長に重任（現在に至る） |
| 常務理事（学長） | 山　田　　純 | 常勤 | 2018年6月　理事に就任（施設担当）<br>2021年4月　理事に就任（職務上理事）（現在に至る） |
| 専務理事 | 大　室　康　一 | 常勤 | 2015年10月　監事に就任<br>2018年6月　監事に就任<br>2020年2月　理事に就任（理事長補佐）<br>2021年6月　理事に重任（理事長補佐）（現在に至る） |
| 常務理事 | 野　口　一　也 | 常勤 | 2015年6月　理事に就任（職務上理事）<br>2018年6月　理事に重任（理事長補佐）<br>2021年6月　理事に重任（理事長補佐　学事担当　産学官民連携担当（SBMC・BOICE））（現在に至る） |
| 理事 | 苅　谷　義　治 | 常勤 | 2021年6月　理事に就任（入試･広報担当　奨学金担当　地域連携担当）（現在に至る） |
| 理事 | 西　川　宏　之 | 常勤 | 2021年6月　理事に就任（研究担当　施設担当　DX担当）（現在に至る） |
| 理事 | 佐　藤　元　哉 | 常勤 | 2021年6月　理事に就任（中学校・高等学校担当）（現在に至る） |
| 理事 | 満　重　信　之 | 常勤 | 2021年6月　理事に就任（監査担当　危機管理室担当　新規事業担当　百周年記念事業 担当　募金担当）（現在に至る） |
| 理事 | 丁　　龍　鎮 | 常勤 | 2021年6月　理事に就任（総務担当）（現在に至る） |
| 理事 | 神　谷　優　子 | 常勤 | 2022年6月　理事に就任（財務担当　ダイバーシティ推進担当）（現在に至る） |
| 理事 | 加　藤　善次郎 | 非常勤 | 2018年6月　理事に就任（校友会後援会担当）<br>2021年6月　理事に重任（校友会後援会担当）（現在に至る）<br>（株式会社日本環境設計　代表取締役） |
| 理事 | 吉　池　富士夫 | 常勤 | 2021年6月　理事に就任（キャリアサポート・就職担当）（現在に至る）<br>（株式会社吉池事務所　代表取締役） |
| 監事 | 秋　山　　豪 | 常勤 | 2015年6月　監事に就任<br>2018年6月　監事に重任<br>2021年6月　監事に重任（現在に至る） |
| 監事 | 秋　山　　進 | 常勤 | 2015年6月　監事に就任<br>2018年6月　監事に重任<br>2021年6月　監事に重任（現在に至る） |
| 監事 | 朱　田　光　洋 | 非常勤 | 2018年6月　理事に就任（監査担当）<br>2021年6月　監事に就任（現在に至る）<br>（朱田税務会計事務所　所長） |

## 評議員の概要

（2024年3月31日現在）

評議員定数　30人

| 区分 | 氏　名 | 所属・勤務先 |
|---|---|---|
| 評議員 | 苅　谷　義　治 | 芝浦工業大学 工学部長（工学部材料工学科 教授） |
| 評議員 | 新　井　　剛 | 芝浦工業大学 工学部材料工学科 教授 |
| 評議員 | 澤　田　英　行 | 芝浦工業大学 システム理工学部長（システム理工学部環境システム学科 教授） |
| 評議員 | 磐　田　朋　子 | 芝浦工業大学 副学長（システム理工学部環境システム学科 教授） |
| 評議員 | 山　崎　憲　一 | 芝浦工業大学 デザイン工学部長（デザイン工学部デザイン工学科 教授） |
| 評議員 | 秋　元　孝　之 | 芝浦工業大学 建築学部長（建築学部建築学科 教授） |
| 評議員 | 柴　田　邦　夫 | 芝浦工業大学 附属中学高等学校 教頭 |
| 評議員 | 三　輪　剛　史 | 芝浦工業大学 柏中学高等学校 教頭 |
| 評議員 | 祖父江　一　郎 | 学校法人芝浦工業大学 総務部長 |
| 評議員 | 久　保　ひとみ | 学校法人芝浦工業大学 就職・キャリア支援部長 |
| 評議員 | 小　川　博　司 | 株式会社カズサッポロ 代表取締役会長 |
| 評議員 | 鴻　　義　久 | 株式会社ハリマビステム 代表取締役会長 |
| 評議員 | 西　　正　次 | 株式会社丸西組 代表取締役会長 |
| 評議員 | 加　藤　善次郎 | 株式会社日本環境設計 代表取締役 |
| 評議員 | 文　倉　辰　夫 | 株式会社HEXEL Works 副社長 執行役員 |
| 評議員 | 木　村　雅　一 | 株式会社日建設計 シニア上席理事 |
| 評議員 | 内　山　　毅 | キヤノン電子テクノロジー株式会社 代表取締役社長 |
| 評議員 | 村　木　健　一 | ヤマハ発動機株式会社 執行役員 |
| 評議員 | 山　崎　晋　吾 | 製鉄給食株式会社 代表取締役社長 |
| 評議員 | 猪　坂　　哲 | 株式会社理経 代表取締役社長 |
| 評議員 | 木　村　増　夫 | 学校法人上智学院 理事 |
| 評議員 | 小　林　　浩 | リクルート進学総研 所長 |
| 評議員 | 潮　江　宏　三 | 京都市立芸術大学 名誉教授 |
| 評議員 | 町　田　裕　紀 | 西村・町田法律事務所 弁護士 |
| 評議員 | 濱　田　正　久 | 株式会社クリプトン 代表取締役会長 |
| 評議員 | 藤　原　未来子 | 一般社団法人日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会 事務局長 |
| 評議員 | 亀　井　信　明 | 株式会社高等教育総合研究所 会長 |
| 評議員 | 西　川　史　子 | 山脇学園中学校・高等学校 校長 |
| 評議員 | 堀　木　エリ子 | 株式会社堀木エリ子アンドアソシエイツ 代表取締役 |
| 評議員 | 山　田　剛　志 | 株式会社IHI 顧問 |

## 教職員の概要

（2023年5月1日現在）

### 1. 大学・大学院教員数

（単位：人）

| 所属＼資格 | | 専任 | | | | | | 非常勤 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 教授 | 准教授 | 助教 | 講師 | 教諭 | 合計 | | |
| | 学長 | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| | 副学長 | 3 | | | | | 3 | | 3 |
| 工学部 | 機械工学科 | 12 | 3 | 0 | 0 | 0 | 15 | 16 | 31 |
| | 機械機能工学科 | 9 | 5 | 0 | 0 | 0 | 14 | 6 | 20 |
| | 材料工学科 | 13 | 3 | 0 | 0 | 0 | 16 | 8 | 24 |
| | 応用化学科 | 13 | 3 | 0 | 0 | 0 | 16 | 3 | 19 |
| | 電気工学科 | 10 | 4 | 0 | 0 | 0 | 14 | 9 | 23 |
| | 電子工学科 | 13 | 2 | 0 | 0 | 0 | 15 | 6 | 21 |
| | 土木工学科 | 14 | 3 | 0 | 0 | 0 | 17 | 7 | 24 |
| | 情報通信工学科 | 11 | 3 | 1 | 0 | 0 | 15 | 7 | 22 |
| | 情報工学科 | 14 | 1 | 0 | 0 | 0 | 15 | 8 | 23 |
| | 先進国際課程 | 10 | 10 | 4 | 0 | 0 | 24 | 0 | 24 |
| | 共通学群 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 110 | 110 |
| システム理工学部 | 電子情報システム学科 | 11 | 4 | 1 | 0 | 0 | 16 | 14 | 30 |
| | 機械制御システム学科 | 12 | 1 | 1 | 0 | 0 | 14 | 11 | 25 |
| | 環境システム学科 | 12 | 1 | 0 | 0 | 0 | 13 | 40 | 53 |
| | 生命科学科 | 11 | 5 | 0 | 0 | 0 | 16 | 25 | 41 |
| | 数理科学科 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 13 | 16 | 29 |
| デザイン工学部 | デザイン工学科 | 17 | 4 | 1 | 0 | 0 | 22 | 52 | 74 |
| 建築学部 | 建築学科 | 26 | 7 | 1 | 0 | 0 | 34 | 109 | 143 |
| 大学院 | 大学院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 18 | 19 |
| その他 | 教育イノベーション推進センター | 6 | 7 | 0 | 1 | 0 | 14 | 6 | 20 |
| | ＳＩＴ総合研究所 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 学長室 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| **合計** | | **229** | **70** | **10** | **1** | **0** | **310** | **471** | **781** |

※専任者には、特別任用教員、プロジェクト研究教員、シニア教員（いずれも有期雇用者）を含んでいます。
※学長は工学部先進国際課程・教授、副学長は機械機能工学科・教授、電子情報システム学科・教授、環境システム学科・教授。当該学科からは除外しています。

### 2. 併設中学校・高等学校教員数

（単位：人）

| 所属＼資格 | | 教諭※ | 非常勤※ | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 中学校 | 芝浦工業大学附属中学校 | 31 | 8 | 39 |
| | 芝浦工業大学柏中学校 | 26 | 12 | 38 |
| 高等学校 | 芝浦工業大学附属高等学校 | 37 | 18 | 55 |
| | 芝浦工業大学柏高等学校 | 41 | 25 | 66 |
| **合計** | | **135** | **63** | **198** |

※教諭には、特任教諭、JET教諭を含んでいます。
※非常勤には、派遣講師を含んでいます。

### 3. 職員数

（単位：人）

| 所属＼資格 | 専任職員※ | 非専任 | | | 計 | 派遣職員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ポスドク | TA・LF | 臨時職員 | | |
| 豊洲 | 141 | 0 | 328 | 131 | 600 | 67 |
| 大宮 | 46 | 0 | 116 | 66 | 228 | 28 |
| 新豊洲 | 5 | 0 | 0 | 13 | 18 | 2 |
| 柏 | 4 | 0 | 0 | 2 | 6 | 5 |
| **合計** | **196** | **0** | **444** | **212** | **852** | **102** |

※専任職員には、特定職員（有期雇用者）を含んでいます。
※ポスドク・TA・LFは、大学院の各研究科に所属しています。

## 施設等の状況

（2024年3月31日現在）

### 1. 現有施設の所在地等の説明

| 所在地 | 施設等 | 面積等（㎡） | 取得価額（千円） | 帳簿価額（千円） | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東京都江東区豊洲3丁目7番5号 | 校地 | 30,000.00 | 8,821,152 | 8,821,152 | 工学部3・4年、デザイン工学部3・4年、建築学部、大学院理工学研究科が使用しています。 |
| | 校舎3棟 | 101,761.93 | 47,000,821 | 35,015,840 | |
| 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地 | 校地 | 170,810.94 | 1,901,807 | 1,901,807 | 工学部1・2年、デザイン工学部1・2年、システム理工学部、大学院理工学研究科が使用しています。 |
| | 校舎13棟他 | 65,117.62 | 20,847,665 | 8,222,989 | |
| 埼玉県さいたま市見沼区東大宮2丁目4番3号 | 寄宿舎（借室） | – | 8,143 | 4,014 | 男子学生寮として建物一括借用（敷地1,636.00㎡、建物2,388.45㎡）です。本学資産は追加した付属設備部分です。 |
| 千葉県柏市増尾700番地 | 校地 | 44,843.85 | 1,227,790 | 1,227,790 | 柏中学高等学校が使用しています。7,895.83㎡の借地面積を含んでいません。 |
| | 校舎8棟他 | 15,816.72 | 3,884,036 | 1,420,222 | |
| 東京都江東区豊洲6丁目2番7号 | 校地 | 14,499.03 | 6,228,249 | 6,228,249 | 附属中学高等学校が使用しています。 |
| | 校舎3棟 | 18,087.80 | 6,435,277 | 4,934,289 | |
| 静岡県熱海市咲見町9丁目18番 | 研修施設用地 | 1,192.90 | 241,073 | 241,073 | うち13.1㎡は持分所有です。 |
| | 研修施設2棟 | 2,702.62 | 634,032 | 620,862 | |
| 埼玉県さいたま市西区大字二ツ宮字岸ノ町113番地1 | 運動場管理施設用地 | 124.50 | 8,684 | 8,684 | 運動場組合から脱退後も所有しています。表示面積は地積×1/12です。 |
| | 管理事務所 | 59.61 | 10,907 | 4,458 | |
| 福岡県うきは市吉井町千年字角間後616番 他 | その他敷地 | 1,395.37 | 8,287 | 8,287 | |
| 東京都港区芝浦3丁目9番14号 | 事業用敷地 | 2,624.00 | 395,251 | 395,251 | 収益事業として全棟貸しを行っています。 |
| | 事業用建物 | 12,491.62 | 3,107,204 | 2,908,902 | |

### 2. 2023年度の主な施設の取得又は処分及び進捗状況

1）豊洲キャンパス：教室棟1階にテクノプラザⅣを整備し、交流棟大講義室のAV設備を更新しました。また、創立100周年記念事業の一環として、有元史郎記念校友会館内に有元史郎MEMORIAL CORNERを新設しました。

2）大宮キャンパス：2・5・6号館に太陽光発電設備を設置しました。大宮キャンパス再整備プロジェクト計画の一環である、延床面積21,720㎡地上7階建てRC造の新棟建設が行われています。

3）柏中学高等学校：高校普通教室棟GHPの更新工事を行いました。

4）熱海セミナーハウス：熱海に保養所を取得し、研修施設としての整備を行いました。

### 3. その他保有資産（図書、教具・校具及び備品）の説明

1） 図書

| 区　分 | 冊数 | | | 価額　（円） |
|---|---|---|---|---|
| | 内国書　（冊） | 外国書　（冊） | 計　（冊） | |
| 図書 | 262,356 | 14,908 | 277,264 | 1,123,925,314 |
| 学術雑誌 | 14,110 | 10,202 | 24,312 | 39,003,688 |
| **計** | **276,466** | **25,110** | **301,576** | **1,162,929,002** |

2） 教具・校具及び備品

| 名称又は種類 | 数量　（点） | 価額　（円） |
|---|---|---|
| 教具・校具 | 59,765 | 3,263,750,589 |
| 備品 | 4,873 | 957,129,989 |
| **計** | **64,638** | **4,220,850,578** |

# Ⅱ. 事業の概要

## 2023年度事業報告

### 1.改革路線の継続

熾烈な大学間競争に勝ち抜き中長期の大目標を実現するには、迅速な意思決定により他大学に負けないスピードで改革を実行することが必要です。この考えのもと学校法人芝浦工業大学（以下、本学）のガバナンス改革では、私立学校法に基づき、理事会を最終的な権限と責任を担う最高意思決定機関であることを明確化し、また設置学校の中心である大学の学長のリーダーシップ確立を目的に、教職員による選挙方式から、学長候補者選考委員会が学長候補者を選考し理事会において決定する「学長候補者選考委員会方式」に改めています。理事及び評議員の選任についても「選考委員会方式」に改めました。また、2025年に改正される私立学校法に対応するため、ガバナンス改革検討委員会を設置し、本学の更なるガバナンス改革の推進へ向けて議論を重ねております。このように、鈴見理事長体制の下で、芝浦工業大学が創立100周年を迎える2027年に「我が国の理工学系私学としてトップの社会的評価を得る」という中長期目標の実現をめざし、教職員一丸となり全力で取り組んでおります。創立100周年を見据えた重点施策テーマは、改革路線の継続による組織運営体制の強化、学校法人を持続可能とする盤石な財政基盤の確立、スーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業終了後の国際推進、教育研究改革及び学生支援の強化、大宮キャンパス施設設備計画、ダイバーシティ、DX化の推進、更に2019年度から本格始動した100周年記念事業駅伝プロジェクトの推進等であり、これらの実現に向け「将来ビジョン検討委員会」等にて検討を重ね、経営資源の戦略的な選択と集中を図りました。

#### ■ 理事会、監事会議等

2021年6月27日に発足した現理事会は、鈴見理事長、職務上理事である山田学長を含む12人の理事体制となっています。監事は現在2人の常勤監事、1人の非常勤監事の3人体制となっています。この理事長、理事会、監事会議と学長の連帯感のある体制により、大学改革を迅速かつ適切に展開する環境が整っており、2023年度も教職学協働でスピーディな改革を実現してまいりました。また2025年4月より施行される改正私立学校法に先駆けてガバナンス検討委員会を立ち上げ、本学の更なるガバナンス改革を実現いたしました。

#### ■ 働き方改革への対応

企業主導型ベビーシッター利用者支援事業を利用するための規程を制定し、教職員が日々の教育・研究・業務運営に注力できる一助となる制度を導入しました。また、併設校教諭については、業務負担軽減に向けた体制構築として、部活動外部指導員を導入しました。事務職員については、従前より在宅勤務に関する規程を制定していましたが、より使いやすい制度とするため申請や基準を明確化し、多様な働き方を支援する体制を整えました。また、完全週休二日制や時間単位年休を導入し、職員の心身の健康と仕事と家庭が両立しやすい環境醸成の検討を進めました。

#### ■ エンゲージメント調査の実施

2023年度は全専任教職員（大学教員、併設校教諭、事務職員）に対する実施として、3回目になります。経年の調査結果から2023年度は事務職員や大学教員、併設校教諭のそれぞれにおいて、肯定的回答（強み）が増えたところや、否定的回答（弱み）が増えたところなどが明らかになり、それぞれの課題点や取り組むべき問題などを認識することができました。2024年度は、これらの課題改善に向け個別に対応策を検討していく予定です。

#### ■ 教員人事評価制度の導入

教育職員の人事評価制度については、学長及び学長室メンバーとともに、人事評価項目の整理とその評価方法について詳細設計を行い、決定した指標を元に試行を実施しました。試行による各教員からの意見を反映し、2024年度から本運用を開始いたします。

#### ■ 研修体系の改善

2023年度は、事務職員の研修体系について大幅な改善を実施し階層別研修や管理職研修、考課者・被考課者研修など必須の人事研修のほか、自主的な意欲を尊重した研修（オンデマンド研修など）を多く取り揃え、事務職員の成長意欲を促進する形で体系を改善しました。また、全専任教職員に対して将来の資産形成の一助として企業型確定拠出年金制度を導入し、これに併せて金融リテラシーの向上を目的とした各種研修（ライフプランや年金など）を実施しました。

#### ■ 将来ビジョン検討委員会における検討

本学は、経営ビジョン「我が国の理工系私学としてトップの社会的評価を得る」に向けたブランディング戦略及び学生満足度No.1を目指すことを目標としています。そのため本学の発展構想及び各キャンパスの価値最大化などにより経営資源の活用を図り、将来構想（将来ビジョン）を検討することを目的に2020年9月から「将来ビジョン検討委員会」を設置しテーマごとに検討を進めています。2023年度は「学部生1万人、大学院生2,500人を目指し名実共に理工系のトップランナーになる」ための検討内容をテーマに検討をおこないました。最終的には創立100周年を迎える2027年には「アジア工科系大学トップ10」と「学生満足度No.1」の社会的評価を得るとともに盤石な財務基盤の確立を目標としています。

#### ■ 芝浦工業大学柏中学高等学校再編計画に向けた検討

開校43年を迎えた芝浦工業大学柏中学高等学校は建物や設備が老朽化しています。2029年の創立50周年に向け2022年度に基本計画が纏まったことを受け、基本設計を進めるために2023年度は柏中高建設検討委員会にて議論を進めました。SDGsの観点から既存校舎の一部リニューアルも含め、新時代の人材育成にマッチした魅力ある校舎の建設を目指します。また同時に関係各部署とともに行政との協議を行っていきます。

## ■ 芝浦工業大学熱海セミナーハウス

日本屈指の温泉リゾート都市である静岡県熱海市に、芝浦工業大学熱海セミナーハウスを2024年3月22日オープンしました。これは高杖セミナーハウス閉鎖後、学生・生徒教職員、卒業生からの新たなセミナーハウス新設の要望に応え、創立100周年事業の一環として整備されたものです。熱海駅徒歩5分で眺望は良く、海の香りを感じられる好立地の場所に建てられています。学生·生徒教職員、卒業生の学びの場、コミュニケーションの場としてはもちろん、温泉での癒しやBBQを楽しむ等、リフレッシュの場としても多種多様の活用が期待されます。

熱海セミナーハウス全景（左）と温泉浴室（右）

## ■ 有元史郎MEMORIAL CORNER

芝浦工業大学は1927年に有元史郎によって東京高等工商学校として創立されました。有元史郎は「実学を通じて真理を探求できる技術者、高い倫理観と豊かな見識を持った技術者、自主・独立の精神をもって精微を極めることのできる技術者の育成」を掲げて、社会に貢献できる技術者の育成を目指しました。

2027年に本学創立100周年を迎えることを機に、芝浦工業大学の歩みを紹介し、未来へつなげることを目的に、2024年1月29日に有元史郎MEMORIAL CORNERを豊洲キャンパス有元史郎記念校友会館内に設置しました。内部は有元史郎生誕から現在までの歴史を動画で紹介したシアターと歴史年表、アーカイブギャラリー、オリジナルグッツショップなど芝浦工業大学の歴史を写真と資料で紹介しています。

有元史郎MEMORIAL CORNERお披露目会（左）と内部の様子（右）

## ■ 大学オリジナルマスコットキャラクター

2023年11月2日の芝浦工業大学創立記念式典にてテクしばくんの大学公式マスコットキャラクター任命式が行われました。テクしばくんは2023年7月に工学部マスコットキャラクターとなっていましたが、イベント等で学生・教職員をはじめ多くの方々からも人気が高まり、大学公式マスコットキャラクターへの昇格となりました。テクしばくん関係グッズの展開と同時に、今後大学の様々なイベントに登場することになります。

公式マスコットキャラクター任命式（左）とテクしばくんグッズ（右）

## ■ 100周年ロゴマーク、スローガン

芝浦工業大学は100周年を迎える2027年にアジア工科系大学のトップ10に入るという目標を設定しました。理工学の可能性を追求し続ける芝浦工業大学では、100周年は通過点と捉えています。「常に前進する文化の醸成」をモットーに教員と職員と学生が協同で前進していくために周年ロゴマークを定め「世界に学び、世界に貢献する」をスローガンとしました。

100th
SIT 100th ANNIVERSARY
Established 1927
世界に学び、世界に貢献する

## ■ 地域に開かれた豊洲キャンパス

①フラワーガーデン

大階段に整備したフラワーガーデンは、四季折々の花を楽しめるよう年4回季節ごとの植え替えをしています。一年草や多年草を季節ごとに工夫を凝らして配置し、教員、職員、学生によるフラワーガーデンプロジェクトメンバーにより日常の花の管理や造園デザインを実施しました。また、植え替え時には学生教職員、近隣保育園、地域住民向けに花配布会を実施しました。

フラワーパーク全景（左）と四季により入れ替える花々（右）

②シバウラキッズパーク

研究棟のトップステージを再構築した約1,400㎡の遊び場は2023年度も近隣の保育園児や児童が自由に遊ぶ場として公開されています。シバウラキッズパークでは学生がデザインした装飾や新たな遊具の追加、こいのぼりや七夕イベント、クリスマスツリー前でサンタクロースによるプレゼント配布等、季節ごとのイベントを実施しました。

キッズパーク遊具（左）とクリスマスイベント（右）

③レストラン・カフェ

本部棟1階には、世界的建築家である坂　茂氏（坂茂建築設計）設計による特徴的なデザインのカフェとレストランを2022年9月にオープンしました。カフェは、日本の「セガフレード・ザネッティ」初の大学キャンパス内オープンであるSIT Global Caffe empowered by Segafredoです。レストランは、1971年に銀座で創業した老舗の洋食店である銀座シシリア豊洲店です。これらの店舗は、学生教職員、近隣就業者、近隣住民

SIT Global Caffe empowered by Segafredo店内（左）と銀座シシリア豊洲店内（右）

の憩いの場として新たな風景をキャンパス内にもたらしました。2023年度は近隣企業や地域住民向けの来店促進を実施し今では学生教職員に加え学外のお客様も多く来店され賑わいを見せています。

④有元史郎記念校友会館
2022年9月にオープンした有元史郎記念校友会館・交流プラザでは校友会事務局と多目的使用が可能な交流プラザ、有元史郎MEMORIAL CORNERを備え、卒業生同士又は卒業生と在学生の交流の場所、地域交流・地域貢献の一環として、公開講座や多様なイベントが開催されています。2023年度建築展では「伊東豊雄の挑戦1971-1986」展を開催し多くの学内外の来場者を集めました。

有元史郎記念校友会館外見（左）と伊東豊雄展イベント風景（右）

### ■ 芝浦工業大学創立100周年記念事業「駅伝プロジェクト」

第55回全日本大学駅伝1区ゴール

芝浦工業大学創立100周年に向けた記念事業の一環として、2018年度から始動した「駅伝プロジェクト」を2023年度も引き続き推進しました。我が国の国民的行事とも言える東京箱根間往復大学駅伝（箱根駅伝）を通じ本学の知名度、ブランド力を向上させるとともに文武両道の逞しい理工学人材輩出を目的としています。公募制推薦入学者選抜では、2023年4月には12人が入学し、駅伝部専用寮である白亜寮に入寮、勉学と練習の両立に励みました。第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会では、芝浦工業大学チームとして23位を記録しました。記念大会のため本選での関東学生連合チームは結成されませんでしたが、第55回全日本大学駅伝対校選手権大会に橋本章央さんが本学として初めて選出され、1区（名古屋市熱田区～名古屋市港区9.5km）を27分46秒の区間14位で走りました。駅伝プロジェクトでは、創立100周年の2027年までにチームとしての箱根駅伝本戦出場を目指してまいります。

## 2.盤石な財政基盤の確立

本学が永続的かつ健全性をもって発展するためには、盤石な財政基盤を堅持しつづけることが必要であり、その実現のため、中長期的な財政見通しを踏まえた計画的な財政運営に努めています。また目標とする財務指標として経常収支差額比率10%以上、積立率100%以上を掲げ、特に事務経費は厳格な管理を行い、施設設備整備計画は取捨選択、複数年計画とするなど、支出の抑制を図っております。
2023年度の収入面は大学院修士課程の学生数増があったものの、学部入学者数はシステム理工学部改組・定員増申請を控えているため、厳しい定員管理のもと全学部ともに定員超過をほぼ0%におさえた結果、事業収入は前年度比で減収となりましたが、国庫補助金では理工農系学部等の各種単価改定による増収や受託事業では国プロの高額契約数増による増収もあり収入全体では前年度比増となりました。支出面は諸物価の高騰、各種事業の本格稼働、豊洲本部棟減価償却費などで前年度比増となりました。
大宮キャンパス再整備工事が始まり、続いて柏中学高等学校の校舎整備等の大型投資も控えており、収支面の強化と内部留保の充実が課題となります。今後も外部資金の積極的な獲得や支出の抑制等を継続し、2022年度から開始した芝浦工大ビル（元芝浦キャンパス）での収益を下支えとしながら、盤石な財政基盤を確立してまいります。

## 3. 教育研究改革

### ■ スーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業の推進

マレーシア・アジアパシフィック大学留学参加者（左）とアメリカ・UCI留学参加者（右）

芝浦工業大学は「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を建学の精神として設立され、有為な人材を社会に送り出すことで高い評価を得ています。今現在では、その精神を踏まえ、社会の要請に応えるべく、教育理念を「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工系人材の育成」と定め、2027年の創立100周年にも輝き続ける大学としての地位を維持し、更に前進するため、2023年度も学長のもと全学的な教職学協働による大学改革を展開しました。
2014年に採択されたスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業においても、芝浦工業大学は世界水準の工学教育を教職学協働で進めることを合言葉に、本事業の終了年度である2024年3月までにこの目標の完遂を目指し、2023年度も全学を挙げて推進しました。
SGU事業最終年度である2023年度においては、新型コロナウイルス感染拡大以前と同水準の学生を海外研修プログラムに参加させることを目標として活動した結果、渡航型プログラム1,263人とオンラインコース47人、計1,310人の学生が、無事に派遣プログラムに参加することができました。同様に、海外協定校の学生にも渡航型の授業履修プログラム（サンドウィッチプログラム）や研究指導プログラムを提供し、学部・大学院の留学生も含め1,923人（うち37人はオンライン）の学生が芝浦工業大学に留学しました。
2023年度は、イスラエルによるガザ地区攻撃、長引くロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安による海外渡航費の高騰という、留学には深刻なマイナス要因が重なりましたが、派遣についてはコロナによる影響が完全に無くなり、留学を控えていた学生へのサポートを行ったことでパンデミック前の実績となりました。受入についてはグローバルPBLのプログラム拡充によりパンデミック前を上回る結果を残し、SGU事業最終年度の2023年度を終えることができました。

### ■ 研究活動の強化

芝浦工業大学は、創立100周年に向けたアクションプラン（Centennial SIT Action）の中で、「研究力強化」を掲げています。その

具体化に向け、SIT総合研究所では2016年度に策定した「SIT研究ビジョン」を、2022年度に見直し改定を行い、研究活性化、公的研究資金の獲得、産学連携・社会実装の大項目に15のKPIを立て目標達成に向け取り組んでいます。
研究の「人材」「資金」「研究環境」の改善を一層押し進めた結果、2023年度は国プロ獲得額1.7億円増（1,500万円以上の大型案件が10件→16件　1.4億円増）、大学と企業による「共同研究講座制度」の新設による4講座の設置や「戦略的産学連携経費」を導入した結果、直接経費200万円以上の共同研究は20件から37件へと増加し、金額では1億円の増となりました。優れた研究者の育成・顕彰・研究環境の改善のため、創発研究フェロー制度の創設により3人の教員への称号付与を行いました。SIT総合研究所に「研究者支援センター」を新設し、所管する共通機器・ものづくりセンターとの一体的運営やベイエリア・オープンイノベーションセンターとの連携を通じて、多忙な教員に研究活動のワンストップサービスを提供しています。また、PI人件費制度、バイアウト制度、事務等補助員雇用制度等により、教員支援の充実を図っています。更に、高度研究支援人材であるURA（University Research Administrator）の体制を見直し、100周年に向けて現在のURA2人体制から10人体制への拡充計画を決定し、従来の大型研究プロジェクトの伴走支援に加え本学の研究戦略の策定や施策の推進を通じて、研究ビジョンの実現に向け研究経営を抜本的に強化します。

共同研究講座セミナー

## ■ ベイエリア・オープンイノベーションセンター

芝浦工業大学初となる研究力強化やベンチャー支援・創出のための拠点として2022年秋に誕生したベイエリア・オープンイノベーションセンター（通称BOiCE）での活動が本格化しました。主な施設は豊洲キャンパス本部棟10階の産学官民連携ラボ（ドライ系10部屋）とインキュベーションスクエアに用意されたコワーキングスペース、シェアオフィスで構成されています。2023年度は研究棟8階に物理・化学・生物系の実験が可能なウエット系の連携ラボ5部屋を追加で整備するなど、施設・設備を拡充しました。併せて大学の立地する江東区やさいたま市などの自治体や企業、金融機関、研究機関等が参画するSITオープンイノベーション協創ネットワークの運営、連携協定を通じたNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）との起業家支援、GTIE（※）における大学発スタートアップ育成、中小企業基盤整備機構からのチーフインキュベーションマネージャー派遣受け入れなど、学外との協働も積極的に進めています。

インキュベーションスクエア

また学生向けの取り組みとして、2022年度に整備されたスチューデント・ジョブ制度ISS（Innovation Student Staff）に加え、2023年度には学生の起業支援や、やり抜く力の涵養を目指すGRIT²（グリットスクエア）プログラムを創設しました。学生からの特許取得や資金調達、会社設立といった相談に対する伴走型支援や、独自のアントレプレナーシップに関する基礎講座・実践講座などの提供を開始しました。

※GTIE（Greater Tokyo Innovation Ecosystem）東京大学・東京工業大学・早稲田大学を主幹機関とした「世界を変える大学発スタートアップを育てる」地域プラットフォーム。首都圏の大学と地方公共団体、VC、CVC、アクセラレーター、民間企業などが結集し、Greater Tokyo（東京圏）におけるスタートアップ・エコシステムの形成を目指す。芝浦工業大学は共同機関として参加。

## ■ 芝浦ビジネスモデルコンペティション

学生による新たなビジネスモデルの考案とその実現を支援する企画として芝浦工業大学が主催する芝浦ビジネスモデルコンペティション（通称SBMC）は、アントレプレナーシップ（起業家精神）に富む次世代のイノベーションリーダーを育成し、起業の促進や新規事業の創出を図ることで社会に貢献することを目的に2016年から開催されているピッチイベントです。第8回の開催となる2023年度は中高生や他大学の学生を含む72チーム（対前年71%増）・288人（80%増）の応募があり、9月に行われたファイナルステージでは選抜10チームが様々なビジネスモデルを発表しました。
また、2023年度からは文部科学省・科学技術振興機構のEDGE-PRIME Initiative事業の一環として、SBMCのノウハウを生かした高校生等を対象にしたアントレプレナーシップ教育プログラム「SBMC Junior」もスタート。11月には併設校・連携協定校と協働し代表生徒によるビジネスアイデア発表・交流会を実施しました。

SBMC Juniorビジネスアイデア発表・交流会

## ■ ダイバーシティ推進

2013年度男女共同参画推進室設置以降、特に女性の少なさが社会的課題である工学分野における女性教員の採用、女子学生の増加に全学的に取り組んでいます。2023年度の女性比率は、女性教員19.2%（前年度19.1%）、学部学生19.8%（前年度19.1%）、大学院生17.9%（前年度17.2%、2023年度大学院進学率は男子45.1%、女子41.4%）となり順調に推移しておりますが、一方で国立大学での女性教員採用強化や国・私立理工系大学の選抜において女子枠の導入が増えており、危機感を持って更なる努力が必要です。また女性職員については42.2%（昨年度44.6%）となり、ここ数年減少傾向になっています。芝浦工業大学では、働きやすい学びやすい環境の整備やシンポジウム、ワークショップなど学生・教職員の意識向上を図るイベントを定期的に開催しています。全ての人がWell-beingを感じられる環境の実現を目指しています。

## ■ DX推進

芝浦工業大学内のDX化を一層推進し、理工学教育研究機能の強化やグローバル化の加速、教職学協働の活動など多岐にわたる改革を支援しました。教育のDX化施策としては、アフターコロナに対応した新たな授業形態に対応すべく、ハイブリッド授業やオンデマンド授業など、より効果的で学生の学びが向上する授業実施を支援しました。また、利用が一般化したLMSの機能を更に強化し、ラーニングアナリティクス（LA）のための機能やコンピュータ　ベースド　テスティング（CBT）システムとも連携可能となり、教員の負担を軽減しつつ、個別最適な学びを進めました。
更に、長年の懸案事項でもあった教員・職員間及び職員・学生間のコミュニケーションを円滑に行うためのシステム統合を実現し、より密なコミュニケーション環境及び情報共有環境を構築しました。

DX化を支える情報インフラの整備においては、3年間にわたる学内無線LAN設備の更新を完了し、全キャンパスでWiFi6に対応し、より高密度で安定した通信環境が提供できるようになりました。また7年ぶりとなる基幹データベースサーバーの更新を実施し、より大量な情報を高速に処理できるようになりました。証明書発行システムについても更新を行い、従来の学内発行に加え、全国のコンビニエンスストアでの学外発行、デジタルバッジやデジタル学修歴証明のクラウド上での発行に対応し、在学生だけでなく卒業生に対するサービスも大幅に向上しました。
法人全体のDX化としては、2024年度工学部課程制に向けた業務の煩雑化の改善を目的として、効率化及びDX化に向けたシステムを導入するとともに、教職員向けのワークショップを実施し、依頼物の一元管理を実現しました。次年度以降、全学に展開を予定しています。それ以外にもワークフローシステムの改善、会議室の簡易予約システムの開発など小さな改善を積み重ね、DX化を着実に推進しました。
情報システムは技術革新のスピードが非常に速いため、最新技術の動向を常にウォッチし、学内システムへの適切な提供を行う体制を整える必要があります。一方で、情報セキュリティの対策が重要な課題となっています。2022年度に制定した芝浦工業大学情報セキュリティ基本規程に基づき、マネジメント体制を強化するとともに、最新の脅威防御システムを導入し、外部からの攻撃に対して迅速かつ安全に対応できるようにしました。

### ■ 2028年度デザイン工学部改組計画

デザイン工学部は、更なる教育環境の充実・向上を図るため、カリキュラム改編による教育の強化や入学定員を160人から110人増やし270人とする計画を進めております。合わせて、現在大宮キャンパスで就学している1、2年生の就学地を豊洲キャンパスとし、1年から4年までがともに学べる都心一貫教育を行う予定です。この計画に伴い、2024年度から豊洲キャンパス本部棟の将来計画スペースである本部棟12階（2,153.72㎡）と13階（1,749.18㎡）の改修に着手するなど、2028年初頭までに諸施設を整備する計画を進め、学生や教員から満足度の高い教育研究環境整備を行います。
この2028年度デザイン工学部改組計画は、2023年6月7日開催、第23-05回理事会にて承認されております。

## 4.学生募集とキャリア支援

### ■ 学生募集

学生募集（2024年度入試）においては、「より適切な入試方法による、より芝浦工業大学に適性を持つ学生の確保」を目的に掲げました。定量的な目標として、特別・推薦入試による入学者40%の確保、女子入学者比率の向上（100周年時に30%）、及び地方出身入学者率の向上（100周年時に25%）を掲げ、これらを達成するべく取り組みました。これらの目標達成に向け、入試広報媒体の作成やオープンキャンパスや大学説明会などのイベントを効果的に行うことを意識しました。特に、女子入学者数増加に向け、女子志願者を対象としたミニオープンキャンパス（女子座談会）やサマーインターンシップなどを精力的に実施しました。また、地方出身の入学者確保のため、各道府県の新進校や代表的な工業高校約40校を「特別指定校」と位置づけ、直接高校に出向いて優秀な生徒を推薦してもらえるよう依頼するなどの取り組みを行いました。

女子生徒サマーインターンシップ集合写真（左）と
女子向けミニオープンキャンパス（女子座談会）の様子（右）

入試の実施及び合否の判定においては、厳格な定員管理を最優先し、綿密に且つ慎重に対応を進めた結果、定員1,851人（秋入学がある先進国際課程を除く）に対し入学者総数1,866人（入学超過率1.01）に収めることができました。特別・推薦入試による入学者数は780人となり、全入学者に占める割合はほぼ目標どおりの41.8%（前年は35.0%）となりました。一方で、一般入試における志願者総数（延べ人数）は35,384人で前年比96.4%の微減となりました。
女子学生獲得においては、前述の広報活動等における取り組みの成果が現れ、理工系女子特別入試による入学者72人（前年比114.3%）などを含む2024年度の女子入学者数は496人となり、全入学者に占める比率は26.6%（前年は21.2%）と大幅に増加しました。また、地方出身入学者においては、2023年度入学者から開始した地方出身者を対象とする「朝日に輝く奨学金」の広報に力を入れ、結果として、一都六県以外からの入学者比率は18.4%と、前年度の17.9%からわずかではありますが向上しました。なお、「朝日に輝く奨学金」に関しては、より優秀な地方出身入学者を増加させることを目的に、2025年度以降の入学者に対する選考方法や給付金額の見直しを行いました。

### ■ キャリア支援

芝浦工業大学は、創立100周年に向け、就職率の向上と有名企業400社への実就職率の向上を掲げています。2023年度においても就職率の向上と質の高い就職先の実現を目指し、個々の学生に合わせたキャリア支援を展開しました。就職率向上に向けて、相談窓口を早朝から夜間、日曜祝日も対応可能な体制を整え、ひとりでも多くの学生にアドバイスを行い、不安や悩み等の相談に応じました。また、2022年度に導入した企業や行政の人事採用経験者による「企業役員による人事カウンセリング」も継続実施しました。これらの取り組みが、多くの学生の内定獲得につながり、2024年3月卒の就職率は99.3%と、前年度比で0.4ポイント増加しました。2023年度の学生相談の利用件数は、対前年比約1割増の年間約10,000件（延べ人数）となりました。効果的なアドバイスを受けた学生が増え、就職率向上に寄与したと考えています。今後もこの取り組みを継続発展し、「真に納得できる就職」を実現するために個々の学生に寄り添った支援を行ってまいります。
質の高い就職先の実現については、有名企業400社への実就職率の

企業懇親会（左）と就活フェア（右）

向上を目指し、企業訪問も行い、採用実績の増加・維持、過去実績企業の復活、新規企業の開拓等に努めました。その結果、昨今の社会環境も相まって、2024年3月卒の有名企業400社への実就職率は36.0%となり、前年比3.2ポイント増加しました。また、2023年度には、有名企業400社などの優良企業の採用担当者等をお招きした「芝浦工業大学企業懇談会」を開催し、221社302人の採用担当者等の皆様にご参加いただきました。本学の人材育成やデザイン工学部原田曜平教授による講演を通じて、本学の魅力をアピールしながら、企業の採用状況などもお伺いし、交流を深めました。今後も参加企業との関係構築を継続し、有名企業400社実就職率増につなげていきます。また、芝浦工業大学校友会との連携による「卒業生企業役員によるパネルディスカッション」やOB・OGと接点を持ち仕事研究を行う「仕事研究フェア」、「合同企業説明会」など毎年恒例の重要イベントを開催しました。加えて芝浦工業大学独自の就職支援システム（CAST）もフル活用することで、学生への情報提供を的確かつ迅速に行いました。

**就職先ランキング（採用10人以上）**

| 2023年度 | | （人） |
|---|---|---|
| 1 | 本田技研工業株式会社 | 20 |
| 2 | 日本電気株式会社 | 19 |
| 3 | NECソリューションイノベータ(株) | 18 |
| 4 | 三菱電機株式会社 | 17 |
| 5 | 日産自動車株式会社 | 15 |
| 6 | 株式会社ＬＩＸＩＬ | 13 |
| | ＳＣＳＫ株式会社 | 13 |
| 7 | 鹿島建設株式会社 | 11 |
| | 大成建設株式会社 | 11 |
| | 株式会社長谷工コーポレーション | 11 |
| 8 | 大和ハウス工業株式会社 | 10 |
| | 株式会社ＮＴＴデータグループ | 10 |
| | 富士電機株式会社 | 10 |

| 2022年度 | | （人） |
|---|---|---|
| 1 | NECソリューションイノベータ(株) | 21 |
| 2 | 本田技研工業株式会社 | 19 |
| 3 | 株式会社SUBARU | 16 |
| 4 | 東日本旅客鉄道株式会社 | 15 |
| 5 | 三菱電機株式会社 | 14 |
| | 東海旅客鉄道株式会社 | 14 |
| | 清水建設株式会社 | 14 |
| 6 | 日本電気株式会社 | 11 |
| 7 | 日産自動車株式会社 | 10 |
| | 東日本電信電話株式会社 | 10 |
| | 大成建設株式会社 | 10 |

## 5.学生支援の充実強化

### ■ 学生生活支援

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」に変更になったことに伴い、2023年度の授業方針は教室も通常定員とし、研究室における研究指導、及び実験・実習・演習科目は原則対面としました。ただし、芝浦工業大学はDX活用による教育方法の改善を推進しており、その趣旨に沿う授業の実施を検討した結果、対面授業と併せてオンライン授業も継続実施することとしました。オンライン授業は教室定員の制限に縛られず、異なるキャンパス所属の学生への開講が可能等、新しい教育方法の開発などの可能性を秘めています。

ドーミー西葛西3（男子学生専用）

ドーミー西葛西Lei（女子学生専用）

**＜2023年度に新たに整備した主な学生生活支援制度＞**

①芝浦工業大学創立１００周年記念芝浦ファミリー入学金減免の制定
2024年度から、入学される方の血縁者（親子・兄弟姉妹等2親等以内）が本法人の設置する学校に在籍していた、又は在籍している場合、若しくは血縁者（親子・兄弟姉妹等2親等以内）が本法人の設置する学校に専任教職員として勤務していた、又は勤務している場合は、入学金相当額（280,000円）を免除、既に納入済みの場合は入学金相当額を返還する制度を制定しました。

②学生寮の寮費変更
2023年4月から、豊洲キャンパスに通学する学生向けに江戸川区西葛西に提携学生寮としてドーミー西葛西3（男子学生専用）とドーミー西葛西Lei（女子学生専用）を設置しましたが2024年4月から、より多くの地方学生に利用してもらえるようドーミー西葛西3、ドーミー西葛西Lei及び東大宮学生寮の寮費を国際学生寮に合わせ35,000円とし、差額及び入寮費・年間管理費は芝浦工業大学が負担することにしました。

### ■ 課外活動支援

**＜芝浦工業大学2023年度課外活動奨励金表彰団体及び主な成績＞**

**①自動車部**
全関東学生ジムカーナ選手権大会（女子団体の部）優勝
全関東学生ジムカーナ選手権大会（男子団体の部）4位
機械工学科4年　木村颯希さん：全関東学生ジムカーナ選手権大会（女子個人の部）優勝

**②硬式庭球部**
関東大学テニスリーグ男子6部準優勝（5部昇格）
関東理工系大学硬式庭球連盟団体リーグ（1部昇格）
機械機能工学科2年　矢﨑英資さん：関東理工系大学硬式庭球連盟（男子シングルス）優勝
関東理工系大学硬式庭球連盟（男子ダブルス）優勝
機械機能工学科2年　佐藤壮さん　：関東理工系大学硬式庭球連盟（男子シングルス）準優勝
関東理工系大学硬式庭球連盟（男子ダブルス）優勝
機械機能工学科2年　布川遼さん　：関東理工系大学硬式庭球連盟（男子シングルス）3位

**③ゴルフ部**
関東大学秋季Fブロック対抗戦準優勝（Eブロック昇格）
デザイン工学科3年　國澤怜能さん：関東大学秋季Fブロック対抗戦最優秀選手

**④柔道部**
東京学生柔道優勝大会（女子団体3人制の部）3位

**⑤サッカー部**
機械工学科4年　土居孝高さん：日本サッカー協会2級審判員資格取得

柔道部

## 6. 併設校との中高大連携強化と理系女子の育成

### ■ 併設校の強化

少子化が進む中で、設立の理念を持つ私立中高ならではの独自性を明確に打ち出しながら、社会情勢の変化や価値観の多様化に対応できる学校作り、校務運営に努めています。
芝浦工業大学附属中学高等学校では先進的なSTEAM教育と大学との連携教育である「工学わくわく講座」「ロボット講座」「ものつくり講座」を中学で推進し、芝浦工業大学柏中学高等学校ではSSHの実践と進学校としての高い評価を強みとして高大連携を進めました。また、姉妹校である両校は互いに連携しながら、新しい教育観を見据え、激動の時代に対応した学校づくりを進めてきました。
また、両校をあげて芝浦ブランドのさらなるアップを目指し、地域の期待にも応えた教育力の向上と魅力ある学校風土の醸成に努めています。校内においては教員の働き方改革推進を継続させ、DX化も図りながら労働環境の整備や待遇の改善を進め、魅力ある職場づくりを目指します。

### ■ 芝浦工業大学附属中学高等学校

Arts and Tech Ⅲの授業風景（左）とSHIBAURA探究最終発表会（右）

2017年の豊洲移転を機に、ICT教育による学習指導を基本に据えました。2年後から全校生徒が2 in1（セパレート型）ノートパソコンを所有し、教育環境を充実させています。単にプロジェクター、パソコン、アプリを使った授業をするのではなく、どう使えば生徒が学びやすいか、学力が伸びるかを研究し、常に効果的な方法を考え授業を行うことで、その成果は生徒の成績向上につながっています。
3年目を迎えた探究型授業「SHIBAURA探究」では、GC（グローバルコミュニケーション）とIT（インフォメーションテクノロジー）の2つの探究を同時に進め、2024年2月の探究DAYでは中学3年生が保護者や全国からの教育関係者に3年間の成果を発表しました。また、ChatGPTを生徒に活用させるため本格的に指導方法の検討をしてきました。更に横断型授業展開の強化、選択科目の情報Ⅱ演習の充実を図るため、情報、数学等を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した分離横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して環境整備費用を支援する「高等学校DX化加速化推進事業（DXハイスクール）」に補助金申請し認可されました。

### ■ 芝浦工業大学柏中学高等学校

生徒の実験風景（左）と探究発表会（右）

文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）第Ⅱ期経過措置校として第Ⅲ期指定を目指した2023年度は、アフターコロナの時代を踏まえ本格的に行事を再開させるとともに、中高大連携の更なる深化を図りました。高大連携では前年度に引き続きシステム理工学部に課題探究学習でのコーチ役をお願いしたほか、併設校推薦を強く希望する高校3年生の生徒5人が芝浦工業大学の講義への出席、各学部の研究室での課題探究活動を進めました。また、10月に金沢工業大学、11月に千葉大学と高大連携協定を結びました。このほか、8月に探究フォーラムを開催し、全国の教育関係者約200人が集い探究学習における知見を深めました。
国際交流にも力を注ぎ、8月にはさくらサイエンスプログラムを利用して来日したインドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ラオスの5か国の高校生と引率者、総勢112人を受け入れ、生徒たちと交流し、日本文化を体験してもらいました。連携協定を結んでいるベトナム・FPT高校の生徒たちとは、2月に開催したSSH探究発表会に合わせて来日し共同研究の成果を披露するなど交流を深めました。

### ■ 実践女子学園中学校高等学校・実践女子大学との教育連携協定

協定締結式の様子
（左から実践女子大学　難波雅紀学長、芝浦工業大学　山田純学長、実践女子学園中学校高等学校　湯浅茂雄校長）

芝浦工業大学は、2023年12月に実践女子学園中学校高等学校、及び実践女子大学と教育連携協定を締結しました。この教育連携協定の下で実施する探究活動を通じて女子生徒の理工系分野へ進学する意欲を喚起することを企図しています。今後、芝浦工業大学女子学生による分野別の学びの説明会、高等学校教員を対象とした研究室見学、生徒が希望する研究室でのサマーインターンシップ、またインターンシップを利用した特別推薦入学などを通じて、探究型学習を深化させていく予定です。

## 7.キャンパスや諸設備の整備

### ■ 大宮キャンパス工事計画

新施設計画

長年にわたり計画されてきたO-CAMP2027が、システム理工学部の課程制移行に合わせ本格的に進められています。新施設計画に沿い2024年2月26日の地鎮祭挙行後、3月に着工いたしました。この建物は、地上7階建て、延べ床面積21,720㎡のRC造で、体育館、地域健康増進センター、ラーニングコモンズ、研究室、実験室等を配し、ZEB　Readyを達成した環境に優しい建物となっています。2026年4月から供用開始の予定です。

### ■ 2023年度新設の主な施設設備

①大宮キャンパス：森の復興

O-CAMP2027の一つである4号館前の森の復興工事が2023年1月に着工しました。この工事は、ナラ枯れによる木々の損傷が激しいことから、雑木林を整備したものです。ナラ枯れの木を伐採し園路・デッキを設け、エリア一帯を芝生化し、2023年9月に完成しました。

森の復興

②豊洲キャンパス：改修工事

2022年度完成したテクノプラザⅢに続き、教室棟1FにテクノプラザⅣを新設しました。また有元史郎MEMORIAL　CORNER設置のため校友会館の校友会事務所を移転しました。このほかに損傷の激しい教室棟RFの床デッキの貼り替えや交流棟大講義室の投射スクリーンの交換等を行いました。

テクノプラザⅣ

### ■ 2023年度の主な施設設備の維持管理

①豊洲キャンパス空調設備更新工事

2023年度はサーバー室の空調機器の更新を行いました。

②大宮キャンパス脱炭素先行地域の対応

省エネ対策として、2号館・5号館の照明をLEDに、2号館・5号館・6号館の屋上に太陽光発電設備を設置しました。

③柏中学高等学校高校棟GHP室内機更新工事

高校棟に設置されたガス空調機の室内機の劣化が顕著で、古い機器のため交換部品の残数も限られてきました。室内機を交換する事で、空調設備の保全につなげます。

## 8.リスクマネジメント体制の強化

芝浦工業大学では2011年の東日本大震災直後に、大地震などの自然災害に対する備えと、災害後の復旧計画立案のために「危機管理室」を設置しました。以降、「災害危機管理基本計画書」「災害対策本部運営要領」の策定を行い、2019年度には、リスクマネジメントにおける大きな目標であった「事業継続計画（BCP）」をとりまとめ、具体的運用に至った経緯があります。2019年から2022年まで、新型コロナウイルスの世界的拡大がありましたが、教学部門のDXを活用した新たな教育方法の構築や、テレワーク等の遠隔業務の環境整備、及びいち早いワクチンの学内接種をはじめとする、学生・教職員健康相談室との連携により、パンデミック発生を回避することができました。現在はコロナ5類移行を経て、コロナ前同様に活発な学校活動が再開されています。2022年9月から「大宮」「豊洲」の2キャンパス体制になり、「芝浦」にあった法人本部が豊洲に戻ったことに対応した「災害危機管理基本計画書」「災害対策本部運営要領」の改定を行いました。改定後は教職員への周知、運営要領マニュアルの配布を完了しました。2024年に入り、各地での地震が頻発する中、危機感をもって災害備蓄品の整備や訓練などを引き続き実施します。

## 9.地域貢献・社会貢献

芝浦工業大学は地域とともにある大学として、これまで進めてきた地域や自治体と連携した教育・研究・社会貢献を一層進め、地域社会、また産学官連携の中核的存在となるよう取り組んでいます。2023年度は、コロナ禍により規模を縮小していた「船カフェ」や「豊洲水彩まつり」などの地域の方々や自治体とともに開催するイベントや、豊洲キャンパス近隣企業と協業したまちづくり活性化イベントを、本格的に再開しました。2023年度に初めて開催した小学生豊洲絵画コンクールには近隣小学校の児童を中心に約600点の応募があり、優秀作品約300点を交流プラザで展示、多くの来場者を集めました。芝浦工業大学における公開講座は、まさに「社会貢献」・「地域貢献」の役割を担っています。芝浦工業大学が持てる専門知識を広く社会・地域に還元することで、地域で生活する方々のQOL向上に貢献しています。芝浦工業大学のアウトリーチ活動としての講座や、幅広い年代層を対象とした「芝浦工業大学らしさ」を強調した公開講座を積極的に展開し、2023年度においては、計35講座を開講し、986人の方々に参加いただきました。特に子ども向け講座については、子どもの「ものづくり」に対する興味・感心を喚起し、未来の理工系人材を育成することを目標とした講座の拡充を図りました。このほか、豊洲みらいプロジェクト、近隣小中学校への出張授業、みなと区民大学及び子ども大学など自治体との共同講座も実施しました。

これらに加えて、国が推進する社会人のためのリカレント教育として、2022年度から開始した履修証明プログラムの拡充に教学部門と協働して取り組むとともに、高校生の科学への探究心育成及び啓蒙を目的として大阪公立大学より事業継承した高校化学グランドコンテストを芝浦工業大学の主催として初めて開催しました。全国から一次選考を通過した80校が参加し、熱気に満ちたコンテストとなりました。大宮キャンパスでは、さいたま市、埼玉大学及び東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社と芝浦工業大学が連携し、「脱炭素先行地域」事業に選定されたことを機に、地域の魅力と質を向上させ、地方創生に資する地域脱炭素活動の取り組みを開始します。更に、システム理工学部の学部再編とキャンパスマスタープラン実行に伴い、さいたま市とスポーツ健康分野を中心とした地域連携を検討してまいります。

公開講座
親子で学ぶマッキー先生の算数教室

高校化学グランドコンテスト
最終選考会（ポスター発表）

# Ⅲ. 財務の概要

## 1. 学校法人会計の特徴と企業会計との相違

学校法人は、教育・研究を通じて有為な人材を育成、輩出し、教育・研究活動で得られた成果を社会に還元することを目的としています。収入の大部分を学費と国及び地方自治体からの補助金が占めており、収入がある程度あらかじめ固定されているため、支出の増加に際し、短期間で支出に見合う収入の増加を図るということが難しく、運営には予算制度に基づく長期的な財政計画が必要です。学校会計は、このような特性を踏まえて、教育・研究活動を継続的に行うための校地、校舎等基本財産の取得状況や長期にわたる収支の均衡の状況を確認できるよう構成されています。
一方で、企業はモノの生産・販売やサービスの提供を通じて投下した資本を回収するとともに、利潤の追求を主な目的としています。したがって、企業会計の目的は収益と費用から当該事業の収益状況を明らかにし、経営成績を判断するべく構成されています。

## 2. 学校法人会計基準

国又は地方公共団体から経常費補助金の交付を受けている学校法人は、文部科学大臣の定める会計処理基準（学校法人会計基準）に従い計算書類を作成することが義務付けられており（私立学校振興助成法第14条）、本学もこれに従い計算書類を作成しています。

## 3. 2023年度　決算の概要

2023年度の資金収支の規模は424億2千万円となりました。引当特定資産の取崩額が減少した一方で、長期借入金収入や付随事業・収益事業収入の増加などがあり、前年度との比較では32億9千万円の規模の拡大となりました。また、予算との比較では、2億5千万円の減少となりました。
支出面では、国内外の旅費交通費や実習見学費の増加、奨学費の拡充等により教育研究経費支出が前年度との比較で1億4千万円増となりましたが、2022年度で豊洲本部棟建設工事が完了したことにより施設関係支出は前年度比較で18億円の減少となりました。
予算対比では、教育研究経費支出が5億2千万円減、施設関係支出が2億6千万円減となりました。
以上の収支の結果、翌年度繰越支払資金については、収入の増加と支出の減少により、前年度との比較で28億9千万円の増加、予算対比では1億3千万円の増加となり、将来に向けた一定の備えを確保することができました。

事業活動収支に関しては、収入が増加した以上に教育研究経費が増加したことにより、教育活動収支差額は前年度との比較で3億4千万円減の21億7千万円となり、予算対比では10億9千万円の増加となりました。教育活動外収支差額（受取/支払利息などの収支）は、前年度との比較で1億3千万円増となったものの、経常収支差額は前年度との比較で2億1千万円減少、予算比では11億4千万円増の26億6千万円となり、経常収支差額比率（臨時的な収支を考慮しない、通常の事業活動による収支バランスを示す比率。高いほど経営の健全性も高いことを表す）は前年度との比較で1.3ポイント減の11.3%となりました。特別収支については、収入は2022年度の有価証券売却差額がなくなったことから前年度との比較で4億円の減少、支出は2022年度の芝浦キャンパス全棟貸し工事による施設設備の除却や機器備品等の廃棄除却がなくなった一方、図書に係る過年度修正額を計上した影響で前年度との比較で1億4千万円減の2億9千万円となりました。これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は、前年度との比較で4億8千万円減の26億円となり、予算対比では9億3千万円の増加となりました。そして、当年度の施設設備取得、過年度取得資産に係る借入返済や第2号基本金への組入れなどの基本金組入額を計上した結果、当年度収支差額は14億1千万円の支出超過（予算比支出超過額が6億7千万円の改善）となりました。

資産・負債に関しては、熱海セミナーハウス取得や大宮キャンパス整備工事に関する建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産は前年度末比で4億2千万円増加し779億4千万円となりました。特定資産については、2号基本金引当資産へ8億円、減価償却引当資産へ29億2千万円の繰入れを行ったものの、豊洲本部棟や各キャンパスの施設設備整備資金に係る取崩しなどがあり、前年度末比35億6千万円の増加となっています。
負債の部については、経営資金及び大宮キャンパス整備資金に係る長期借入金を調達したこと等により、前年度末比44億5千万円増の196億2千万円となっています。
純資産は、繰越収支差額の支出超過額が拡大したものの、これを基本金の組入れによる増加が上回り、純資産の部合計では前年度比26億円の増加となりました。純資産構成比率（総資産に占める自己資産の比率。高いほど財政的に安定）は、有形固定資産及び固定負債の増加により前年度末比2.7ポイント減の85.3%となりました。

2022年度から芝浦キャンパスを賃貸化する収益事業を開始しました。これに伴う収益事業会計に関しては、不動産賃貸料収入8億2千万円、経常利益5億2千万円となり、学校会計繰入支出5億2千万円を計上し、収益事業から学校法人会計に収益を繰入れています。資産の部については、学校法人会計から移した資産や不動産賃貸収入の未収入金などを計上し、資産の部合計50億円となりました。
負債の部については、学校法人に繰入れる収益などを計上し、純資産の部合計は36億3千万円となりました。

## 資金収支計算書

当該年度に行なった諸活動に対応する全ての収入と支出の内容、支払資金の収入・支出を明らかにしています。

（単位：百万円）

| | 科　目 | ❶ 予　算 | ❷ 決　算 | ❸＝❶－❷ | 前年度決算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 収入の部 | 学生生徒等納付金収入 1 | 16,739 | 16,781 | △ 42 | 16,833 |
| | 手数料収入 1 | 993 | 999 | △ 6 | 994 |
| | 寄付金収入 1 | 412 | 413 | 0 | 422 |
| | 補助金収入 1 | 2,696 | 2,751 | △ 55 | 2,526 |
| | 資産売却収入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 付随事業・収益事業収入 2 | 1,444 | 1,684 | △ 240 | 1,225 |
| | 受取利息・配当金収入 2 | 27 | 28 | △ 1 | 18 |
| | 雑収入 | 741 | 908 | △ 166 | 910 |
| | 借入金等収入 | 6,000 | 6,000 | 0 | 0 |
| | 前受金収入 | 3,103 | 3,143 | △ 40 | 3,068 |
| | その他の収入 | 3,928 | 3,955 | △ 26 | 6,539 |
| | 資金収入調整勘定 | △ 3,433 | △ 4,263 | 830 | △ 4,168 |
| | 前年度繰越支払資金 | 10,016 | 10,016 | 0 | 10,759 |
| | **収入の部合計** | **42,667** | **42,415** | **252** | **39,125** |

| | 科　目 | ❶ 予　算 | ❷ 決　算 | ❸＝❶－❷ | 前年度決算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 支出の部 | 人件費支出 | 9,294 | 9,284 | 11 | 8,954 |
| | 教育研究経費支出 3 | 7,356 | 6,835 | 521 | 6,695 |
| | 管理経費支出 3 | 1,940 | 1,899 | 40 | 1,786 |
| | 借入金等利息支出 | 106 | 46 | 60 | 55 |
| | 借入金等返済支出 | 1,038 | 1,038 | 0 | 611 |
| | 施設関係支出 4 | 2,923 | 2,667 | 256 | 4,463 |
| | 設備関係支出 4 | 649 | 641 | 9 | 937 |
| | 資産運用支出 | 6,539 | 6,452 | 87 | 5,580 |
| | その他の支出 | 380 | 1,143 | △ 763 | 375 |
| | 資金支出調整勘定 | △ 335 | △ 500 | 164 | △ 347 |
| | 翌年度繰越支払資金 | 12,776 | 12,910 | △ 134 | 10,016 |
| | **支出の部合計** | **42,667** | **42,415** | **252** | **39,125** |

（注）表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

**POINT 1**

**学生生徒等納付金収入：**授業料、実験実習料などの、いわゆる学費です。学生生徒数約12,100人分。
**手数料収入：**入学検定料や各種証明書手数料等の収入です。予算比増額となりました。
**寄付金収入：**内訳①100周年事業：78百万円、②併設校：66百万円、③研究奨励寄付：118百万円、④後援会大学援助：106百万円、⑤その他使途特定寄付：32百万円。
**補助金収入：**国や地方自治体等から本学が受ける各種補助金です。国庫補助金収入が中心となっています。国庫補助金収入には、経常費補助金1,453百万円、修学支援制度補助金217百万円、さいたま市脱炭素交付金42百万円、SGU創成支援35百万円などが含まれています。

**POINT 2**

**付随事業・収益事業収入：**学生寮や食堂など教育研究活動に付随する事業や、受託研究事業、本学の公開講座受講料等に関する収入です。収益事業収入については、芝浦キャンパスの賃貸化による収益として513百万円を計上しています。
**受取利息・配当金収入：**奨学基金等の引当特定資産に係る運用果実です。

**POINT 3**

**教育研究経費支出、管理経費支出：**教育研究経費には、学科等に直接配分される教育研究経費だけでなく、大学事務部門が所管する各種教育事業経費や、施設設備やIT環境の維持に係る保守清掃費、光熱水費、あるいは修繕工事費などが含まれています。一方、管理経費とは、理事会や間接部門（総務部、財務部など）の業務経費等を指します。補正予算編成時はコロナ５類引下げによる諸活動の正常化を想定した編成としていましたが、教育研究経費を中心に予算比の差額が発生しています。主な項目は以下のとおりです。
・消耗品費の増加（244百万円）
・実習見学費の増加（127百万円）
・光熱水費の減少（△233百万円）
・保守清掃費の減少（△173百万円）
・賃借料の減少（△74百万円）
一方で主な学生支援として、女子学生の入学を促進させる支援として
・女子学生入学促進支援金（33百万円）
一都六県以外の地方入学者の入学を促進させる支援として
・朝日に輝く奨学金（32百万円）
などを取組みました。

**POINT 4**

**施設関係支出：**土地や建物等に関係した支出です。主なものは以下のとおりです。
①（大宮）新棟設計・工事事業費　1,156百万円
②熱海セミナーハウス取得・改修工事費　884百万円
③（大宮）キャンパス森の復興整備費　93百万円
④（豊洲）有元史郎MEMORIAL CORNER工事費　26百万円
**設備関係支出：**什器や機器備品類関係の支出です。主なものは以下のとおりです。
①（豊洲・大宮）Oracleデータベースサーバー　85百万円
②（豊洲）大講義室AV他施設更新費　55百万円
③（豊洲・大宮）コロナ対策無線アクセスポイント機器　33百万円

## 事業活動収支計算書

当該年度の教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に対応する収入及び支出の内容、及び基本金組み入れ後の収支の均衡の状態を明らかにしています。

（単位：百万円）

| 科目 | | | 予算 | 決算 | 差異 | 前年度決算 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 16,739 | 16,781 | △ 42 | 16,833 |
| | | 手数料 | 993 | 999 | △ 6 | 994 |
| | | 寄付金 5 | 339 | 358 | △ 19 | 323 |
| | | 経常費等補助金 | 2,687 | 2,743 | △ 55 | 2,498 |
| | | 付随事業収入 | 931 | 1,171 | △ 240 | 910 |
| | | 雑収入 | 741 | 910 | △ 169 | 821 |
| | | 教育活動収入計 | 22,430 | 22,962 | △ 532 | 22,379 |
| | 事業活動支出の部 | 人件費 6 | 9,303 | 9,292 | 11 | 8,954 |
| | | 教育研究経費 6 | 9,943 | 9,425 | 518 | 8,986 |
| | | 管理経費 6 | 2,097 | 2,074 | 22 | 1,904 |
| | | 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| | | 教育活動支出計 | 21,342 | 20,792 | 550 | 19,868 |
| **教育活動収支差額** | | | **1,087** | **2,170** | **△ 1,082** | **2,511** |

| 科目 | | | 予算 | 決算 | 差異 | 前年度決算 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 受取利息・配当金 | 27 | 28 | △ 1 | 18 |
| | | その他の教育活動外収入 | 514 | 513 | 0 | 404 |
| | | 教育活動外収入計 | 541 | 541 | 0 | 422 |
| | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 106 | 46 | 60 | 55 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 106 | 46 | 60 | 55 |
| **教育活動外収支差額** | | | **435** | **495** | **△ 60** | **367** |
| **経常収支差額** | | | **1,522** | **2,664** | **△ 1,142** | **2,877** |

| 科目 | | | 予算 | 決算 | 差異 | 前年度決算 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 | 245 |
| | | その他の特別収入 5 | 209 | 228 | △ 19 | 386 |
| | | 特別収入計 | 209 | 228 | △ 19 | 631 |
| | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 6 | 59 | 73 | △ 15 | 434 |
| | | その他の特別支出 6 | 0 | 220 | △ 220 | 0 |
| | | 特別支出計 | 59 | 294 | △ 235 | 434 |
| **特別収支差額** | | | **151** | **△ 65** | **216** | **197** |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 1,673 | 2,599 | △ 926 | 3,075 |
| 基本金組入額合計 5 | | | △ 3,750 | △ 4,004 | 254 | △ 10 |
| 当年度収支差額 7 | | | △ 2,077 | △ 1,405 | △ 672 | 3,065 |
| 前年度繰越収支差額 | | | △ 6,711 | △ 6,711 | 0 | △ 10,376 |
| 基本金取崩額 | | | 0 | 0 | 0 | 600 |
| 翌年度繰越収支差額 7 | | | △ 8,788 | △ 8,116 | △ 672 | △ 6,711 |
| （参考） | | | | | | |
| **事業活動収入計** | | | **23,180** | **23,731** | **△ 551** | **23,432** |
| **事業活動支出計** | | | **21,506** | **21,132** | **375** | **20,357** |

（注）表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

**POINT 5**

**寄付金**：特別寄付金に加え、現物寄付13百万円の金額を計上しています。なお、施設設備の取得に使途を特定した寄付は、特別収支のその他の特別収入に計上されています。

**基本金組入額**：内訳は以下のとおりです。
①第1号基本金組入額：△2,947百万円
施設設備取得に係る組入額3,009百万円と過年度取得した資産に係る借入返済に伴う組入額1,038百万円から、借入金等1,100百万円を除いたものを組入れました。
②第2号基本金組入額：△800百万円
先行組入れとして、100周年記念事業資金（16年計画の12年目）800百万円を組入れました。
③第3号基本金組入額：△20百万円
各種奨学事業経費、顕彰事業経費の残額、及び同事業への寄付金を組入れています。
④第4号基本金組入額：△257百万円
学校法人の円滑な運営に必要な運転資金として組入れています。

**POINT 6**

**人件費**：退職給与引当金の繰入不足額なども計上されています。
**教育研究経費、管理経費**：資金収支計算書の教育研究経費支出、管理経費支出に、減価償却額（各2,577百万円、168百万円）等が計上されています。
**その他の支出（資産処分差額）**：既存の建物・構築物、機器等の除却処理を中心に以下のとおり計上しました。
①教育研究用機器備品処分差額　52百万円
②図書処分差額　18百万円　　等を計上
**その他の支出（特別支出）**
①過年度修正額　220百万円　　等を計上

**POINT 7**

**当年度収支差額**：教育活動収支差額が予算比約11億円の収支改善となったこと、教育活動外収支差額が同比1億円改善したことなどにより、予算比約7億円の収入超過額の増加となりました。
**翌年度繰越収支差額**：＝当年度収支差額＋前年度繰越収支差額＋基本金取崩額

## 貸借対照表

当該年度（2023年度）末時点の資産・負債・正味財産を把握し、財政状態を表しています。

### 資産の部

（単位：百万円）

| 科　目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| **固定資産** | **118,897** | **115,089** | **3,808** |
| 有形固定資産 1 | 77,942 | 77,527 | 415 |
| 土地 | 18,437 | 18,111 | 326 |
| 建物 | 50,223 | 50,960 | △ 737 |
| 構築物 | 2,656 | 2,739 | △ 83 |
| 教育研究用機器備品 | 3,938 | 3,886 | 51 |
| 管理用機器備品 | 283 | 253 | 31 |
| 図書 | 1,163 | 1,366 | △ 203 |
| 車両 | 17 | 20 | △ 3 |
| 建設仮勘定 1 | 1,226 | 192 | 1,034 |
| 特定資産 2 | 36,659 | 33,104 | 3,555 |
| 第２号基本金引当特定資産 | 1,300 | 500 | 800 |
| 第３号基本金引当特定資産 | 4,432 | 4,432 | 0 |
| 施設設備引当特定資産 | 1,404 | 1,167 | 238 |
| 退職給与引当特定資産 | 3,244 | 2,710 | 533 |
| 減価償却引当特定資産 | 15,579 | 14,455 | 1,124 |
| 借入金返済引当特定資産 | 1,275 | 1,233 | 41 |
| 教育研究環境整備引当特定資産 | 241 | 225 | 16 |
| 研究助成引当特定資産 | 3,057 | 2,953 | 104 |
| 博士(後期)課程給付奨学金引当特定資産 | 56 | 64 | △ 8 |
| 創立80周年記念事業引当特定資産 | 62 | 62 | 0 |
| 将来計画資金引当特定資産 | 6,006 | 5,300 | 706 |
| 三浦賞基金引当特定資産 | 1 | 1 | 0 |
| その他の固定資産 | 4,296 | 4,457 | △ 161 |
| 電話加入権 | 8 | 8 | 0 |
| 施設利用権 | 9 | 11 | △ 2 |
| 有価証券 | 19 | 19 | 0 |
| 敷金及び保証金 | 22 | 22 | 0 |
| 長期貸付金 | 602 | 761 | △ 159 |
| 長期前払金 | 5 | 5 | 0 |
| 収益事業元入金 | 3,631 | 3,631 | 0 |
| **流動資産** | **14,117** | **10,877** | **3,240** |
| 現金預金 | 12,910 | 10,016 | 2,894 |
| 未収入金 | 1,198 | 852 | 345 |
| 立替金 | 2 | 3 | △ 1 |
| 前払金 | 8 | 6 | 2 |
| **資産の部合計** | **133,014** | **125,966** | **7,049** |

**POINT 1**

**有形固定資産**：当年度の増減要因は下記のとおりです。

①増加要因：熱海セミナーハウス取得関連（884百万円）、大宮新棟設計・工事（1,076百万円）、教育研究用機器備品取得（556百万円）、現物寄付（152百万円）、豊洲キャンパステクノプラザ改修126百万円他となっています。

②減少要因：減価償却（建物1,901百万円、構築物224百万円、教育研究用機器備品614百万円）他などとなっています。

**建設仮勘定**：当年度残高の内訳は次のとおりです。

大宮整備工事1,226百万円、他

**POINT 2**

**特定資産**：減価償却引当特定資産から各キャンパス施設設備整備費用を取崩したほか、借入金返済引当特定資産より借入金返済原資を取崩しました。一方、積立に関しては、第2号基本金引当特定資産へ800百万円、減価償却引当特定資産に2,921百万円、借入金返済引当特定資産に969百万円などの繰入支出を計上しました。この結果、R5年度末現在の引当特定資産保有高は前年度末比3,555百万円増の36,659百万円となりました。

## 貸借対照表

### 負債の部

（単位：百万円）

| 科　目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| **固定負債** | **14,080** | **9,308** | 4,772 |
| 長期借入金 3 | 10,836 | 6,073 | 4,764 |
| 退職給与引当金 | 3,244 | 3,235 | 9 |
| **流動負債** | **5,536** | **5,858** | **△ 322** |
| 短期借入金 3 | 1,236 | 1,038 | 198 |
| 未払金 | 495 | 330 | 165 |
| 前受金 | 3,144 | 3,068 | 77 |
| 預り金 | 660 | 1,422 | △ 762 |
| **負債の部合計** | **19,616** | **15,166** | **4,450** |

### 純資産の部

| 科　目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| **基本金 4** | **121,515** | **117,511** | **4,004** |
| 第１号基本金 4 | 114,356 | 111,408 | 2,947 |
| 第２号基本金 4 | 1,300 | 500 | 800 |
| 第３号基本金 4 | 4,432 | 4,432 | 0 |
| 第４号基本金 4 | 1,427 | 1,170 | 257 |
| **繰越収支差額** | △ 8,116 | △ 6,711 | △ 1,405 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 8,116 | △ 6,711 | △ 1,405 |
| **純資産の部合計** | **113,399** | **110,800** | **2,599** |
| **負債及び純資産の部合計** | **133,014** | **125,966** | **7,049** |

（注）表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

**POINT 3**

**長期借入金、短期借入金：**当年度末の長期・短期借入金残高合計は12,073百万円となっており、前年度末比4,962百万円の増加となりました。

**POINT 4**

**基本金**

基本金は企業会計にはない、学校会計独自の会計処理です。学校運営に必要な資産のうち、継続的に維持していくべき資産（校地・校舎・機器備品・図書・現金・預金）の額を表したものを「基本金」といい、毎年一定額を組み入れます。また学校法人会計基準第30条第一項において基本金は４つに分類されています。

| 基本金の種類 | 目的 |
|---|---|
| 第１号基本金 | 自己資金で取得した校地・校舎、機器備品などの取得額 |
| 第２号基本金 | 固定資産を将来取得するために積み立てた預金などの資産の額 |
| 第３号基本金 | 奨学基金、研究基金などの資産の額 |
| 第４号基本金 | 学校法人の円滑な運営に必要な運転資金の額 |

**第１号基本金：**当期自己資金による固定資産取得高（当年度借入金返済高、建設仮勘定からの振替、及び過年度未払金の支払額を含む）を組入れた結果、前年度末比2,947百万円の増加となりました。
**第２号基本金：**100周年記念事業資金800百万円を組入れました。
**第３号基本金：**各種奨学事業経費、顕彰事業経費の残額、及び同事業への寄付金を組入れています。
**第４号基本金：**基準に基づき組入れ又は取崩し額が算出されており、今年度は257百万円を組入れました。

## 収益事業会計

本学は、私立学校法に基づき、収益事業を行っています。当該収益事業は、私立学校の経営に関する会計（学校法人会計から区分し、特別の会計（企業会計）として経理することとされています。
本学は収益事業会計の対象事業として、不動産賃貸事業を行っています。

### 貸借対照表
2024年3月31日

#### 資産の部

（単位：百万円）

| 科　目 | 金額 |
|---|---|
| **流動資産** | **1,691** |
| 現金預金 | 1,269 |
| 未収入金 | 422 |
| | |
| **固定資産** | **3,318** |
| 有形固定資産 | 3,318 |
| 土地 | 395 |
| 建物 | 2,909 |
| 構築物 | 14 |
| **資産の部合計** | **5,009** |

（単位：百万円）

| 科　目 | 金額 |
|---|---|
| **流動負債** | **585** |
| 未払金 | 585 |
| **固定負債** | 794 |
| 預り敷金 | 794 |
| **負債の部合計** | **1,378** |

#### 純資産の部

（単位：百万円）

| 科　目 | 金額 |
|---|---|
| 元入金 | 3,631 |
| | |
| **純資産の部合計** | **3,631** |
| **負債及び純資産の部合計** | **5,009** |

（注）減価償却累計額　2,038
表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

### 損益計算書
2023年4月1日から　2024年3月31日まで

（単位：百万円）

| 科　目 | 金額 | |
|---|---|---|
| **営業収益** | | **815** |
| 不動産賃貸料収入 | 815 | |
| **営業費用** | | **299** |
| 消耗品費 | 1 | |
| 保険料 | 1 | |
| 租税公課 | 152 | |
| 減価償却費 | 143 | |
| 委託費 | 2 | |
| 営業利益 | | 516 |
| 経常利益 | | 516 |
| 特別損失 | | 2 |
| 学校会計繰入支出 | | 513 |
| 税引前当期純利益 | | 0 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 0 |
| 当期純利益 | | 0 |

## 学校別　事業活動収支内訳表

（単位：百万円）

| 科目 | | | 学校 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 法人 | 大学 | 柏高等学校 | 附属高等学校 | 柏中学校 | 附属中学校 | 総計 |
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 0 | 14,687 | 676 | 549 | 461 | 408 | **16,781** |
| | | 手数料 | 0 | 908 | 21 | 5 | 37 | 27 | **999** |
| | | 寄付金 | 0 | 319 | 11 | 11 | 10 | 7 | **358** |
| | | 経常費等補助金 | 0 | 1,769 | 389 | 234 | 189 | 162 | **2,743** |
| | | 付随事業収入 | 0 | 1,090 | 42 | 0 | 39 | 0 | **1,171** |
| | | 雑収入 | 150 | 554 | 70 | 18 | 67 | 51 | **910** |
| | | **教育活動収入計** | **151** | **19,327** | **1,209** | **817** | **803** | **655** | **22,962** |
| | 事業活動支出の部 | 人件費 | 194 | 6,986 | 705 | 575 | 433 | 398 | **9,292** |
| | | 教育研究経費 | 0 | 8,465 | 238 | 334 | 152 | 236 | **9,425** |
| | | 管理経費 | 236 | 1,555 | 112 | 44 | 77 | 50 | **2,074** |
| | | 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **0** |
| | | **教育活動支出計** | **430** | **17,007** | **1,056** | **953** | **662** | **685** | **20,792** |
| | **教育活動収支差額** | | **△ 279** | **2,320** | **154** | **△ 137** | **142** | **△ 29** | **2,170** |

| 科目 | | | 法人 | 大学 | 柏高等学校 | 附属高等学校 | 柏中学校 | 附属中学校 | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 受取利息・配当金 | 0 | 23 | 2 | 1 | 1 | 0 | **28** |
| | | その他の教育活動外収入 | 513 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **513** |
| | | **教育活動外収入計** | **513** | **23** | **2** | **1** | **1** | **0** | **541** |
| | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 0 | 31 | 0 | 9 | 0 | 6 | **46** |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **0** |
| | | **教育活動外支出計** | **0** | **31** | **0** | **9** | **0** | **6** | **46** |
| | 教育活動外収支差額 | | **513** | **△ 8** | **2** | **△ 8** | **1** | **△ 6** | **495** |
| **経常収支差額** | | | **234** | **2,312** | **155** | **△ 144** | **143** | **△ 35** | **2,664** |

| 科目 | | | 法人 | 大学 | 柏高等学校 | 附属高等学校 | 柏中学校 | 附属中学校 | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **0** |
| | | その他の特別収入 | 0 | 200 | 8 | 9 | 6 | 5 | **228** |
| | | **特別収入計** | **0** | **200** | **8** | **9** | **6** | **5** | **228** |
| | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 0 | 63 | 7 | 1 | 1 | 1 | **73** |
| | | その他の特別支出 | 0 | 220 | 0 | 0 | 0 | 0 | **220** |
| | | **特別支出計** | **0** | **283** | **7** | **1** | **1** | **1** | **294** |
| | **特別収支差額** | | **0** | **△ 83** | **1** | **8** | **5** | **3** | **△ 65** |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 234 | 2,230 | 157 | △ 136 | 147 | △ 32 | **2,599** |
| 基本金組入額合計 | | | △ 847 | △ 2,769 | △ 102 | △ 128 | △ 63 | △ 96 | **△ 4,004** |
| 当年度収支差額 | | | △ 613 | △ 539 | 55 | △ 265 | 84 | △ 128 | **△ 1,405** |
| （参考） | | | | | | | | | |
| **事業活動収入計** | | | **664** | **19,550** | **1,219** | **827** | **810** | **660** | **23,731** |
| **事業活動支出計** | | | **430** | **17,321** | **1,063** | **964** | **663** | **692** | **21,132** |

（注）表中の数字が四捨五入されているため、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

## 経年比較　資金収支計算書

（単位：百万円）

| 区　分 | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 収入の部 | 学生生徒等納付金収入 | 15,409 | 15,809 | 16,273 | 16,833 | 16,781 |
| | 手数料収入 | 1,069 | 1,011 | 1,016 | 994 | 999 |
| | 寄付金収入 | 343 | 426 | 313 | 422 | 413 |
| | 補助金収入 | 2,451 | 2,779 | 2,526 | 2,526 | 2,751 |
| | 資産売却収入 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| | 付随事業・収益事業収入 | 689 | 607 | 809 | 1,225 | 1,684 |
| | 受取利息・配当金収入 | 54 | 39 | 21 | 18 | 28 |
| | 雑収入 | 529 | 422 | 653 | 910 | 908 |
| | 借入金等収入 | 0 | 0 | 5,000 | 0 | 6,000 |
| | 前受金収入 | 2,968 | 3,190 | 3,295 | 3,068 | 3,143 |
| | その他の収入 | 3,667 | 6,226 | 11,298 | 6,539 | 3,955 |
| | 資金収入調整勘定 | △ 3,096 | △ 3,406 | △ 3,612 | △ 4,168 | △ 4,263 |
| | 前年度繰越支払資金 | 8,483 | 9,858 | 11,185 | 10,759 | 10,016 |
| **収入の部合計** | | **32,567** | **36,964** | **48,778** | **39,125** | **42,415** |
| 支出の部 | 人件費支出 | 8,704 | 8,795 | 8,977 | 8,954 | 9,284 |
| | 教育研究経費支出 | 5,588 | 5,724 | 5,478 | 6,695 | 6,835 |
| | 管理経費支出 | 1,469 | 1,209 | 1,399 | 1,786 | 1,899 |
| | 借入金等利息支出 | 71 | 61 | 61 | 55 | 46 |
| | 借入金等返済支出 | 1,611 | 611 | 611 | 611 | 1,038 |
| | 施設関係支出 | 1,188 | 4,736 | 15,023 | 4,463 | 2,667 |
| | 設備関係支出 | 606 | 520 | 412 | 937 | 641 |
| | 資産運用支出 | 3,462 | 4,113 | 6,012 | 5,580 | 6,452 |
| | その他の支出 | 334 | 325 | 358 | 375 | 1,143 |
| | 資金支出調整勘定 | △ 324 | △ 316 | △ 312 | △ 347 | △ 500 |
| | 翌年度繰越支払資金 | 9,858 | 11,185 | 10,759 | 10,016 | 12,910 |
| **支出の部合計** | | **32,567** | **36,964** | **48,778** | **39,125** | **42,415** |

(注) 表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

## 経年比較　事業活動収支計算書

（単位：百万円）

| 科目 | | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 15,409 | 15,809 | 16,273 | 16,833 | 16,781 |
| | | 手数料 | 1,069 | 1,011 | 1,016 | 994 | 999 |
| | | 寄付金 | 292 | 406 | 256 | 323 | 358 |
| | | 経常費等補助金 | 2,413 | 2,711 | 2,511 | 2,498 | 2,743 |
| | | 付随事業収入 | 689 | 607 | 809 | 910 | 1,171 |
| | | 雑収入 | 529 | 422 | 653 | 821 | 910 |
| | | **教育活動収入計** | **20,402** | **20,967** | **21,517** | **22,379** | **22,962** |
| | 事業活動支出の部 | 人件費 | 8,709 | 8,719 | 8,940 | 8,954 | 9,292 |
| | | 教育研究経費 | 8,160 | 8,104 | 7,544 | 8,986 | 9,425 |
| | | 管理経費 | 1,568 | 1,308 | 1,512 | 1,904 | 2,074 |
| | | 徴収不能額等 | 44 | 24 | 13 | 24 | 0 |
| | | **教育活動支出計** | **18,481** | **18,154** | **18,009** | **19,868** | **20,792** |
| | **教育活動収支差額** | | **1,921** | **2,813** | **3,508** | **2,511** | **2,170** |

| 科目 | | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 受取利息・配当金 | 54 | 39 | 21 | 18 | 28 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 | 404 | 513 |
| | | **教育活動外収入計** | **54** | **39** | **21** | **422** | **541** |
| | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 71 | 61 | 61 | 55 | 46 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | **教育活動外支出計** | **71** | **61** | **61** | **55** | **46** |
| | **教育活動外収支差額** | | **△ 17** | **△ 22** | **△ 40** | **367** | **495** |
| **経常収支差額** | | | **1,904** | **2,791** | **3,469** | **2,877** | **2,664** |

| 科目 | | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 0 | 2 | 0 | 245 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 128 | 142 | 171 | 386 | 228 |
| | | **特別収入計** | **128** | **144** | **171** | **631** | **228** |
| | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 197 | 167 | 815 | 434 | 73 |
| | | その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 220 |
| | | **特別支出計** | **197** | **167** | **815** | **434** | **294** |
| | **特別収支差額** | | **△ 69** | **△ 23** | **△ 644** | **197** | **△ 65** |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 1,834 | 2,768 | 2,824 | 3,075 | 2,599 |
| 基本金組入額合計 | | | △ 3,974 | △ 6,209 | △ 4,194 | △ 10 | △ 4,004 |
| 当年度収支差額 | | | △ 2,140 | △ 3,441 | △ 1,370 | 3,065 | △ 1,405 |
| （参考） | | | | | | | |
| **事業活動収入計** | | | **20,584** | **21,150** | **21,710** | **23,432** | **23,731** |
| **事業活動支出計** | | | **18,749** | **18,381** | **18,885** | **20,357** | **21,132** |

（注）表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

## 経年比較　貸借対照表

（単位：百万円）

| 区　分 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 固定資産 | 103,063 | 103,904 | 111,658 | 115,089 | 118,897 |
| 流動資産 | 10,066 | 11,637 | 11,185 | 10,877 | 14,117 |
| **資産の部合計** | **113,129** | **115,541** | **122,844** | **125,966** | **133,014** |
| 固定負債 | 6,683 | 5,995 | 10,347 | 9,308 | 14,080 |
| 流動負債 | 4,314 | 4,645 | 4,772 | 5,858 | 5,536 |
| **負債の部合計** | **10,997** | **10,640** | **15,119** | **15,166** | **19,616** |
| 基本金 | 107,713 | 113,906 | 118,101 | 117,511 | 121,515 |
| 繰越収支差額 | △ 5,581 | △ 9,006 | △ 10,376 | △ 6,711 | △ 8,116 |
| **純資産の部合計** | **102,132** | **104,900** | **107,725** | **110,800** | **113,399** |
| **負債及び純資産の部合計** | **113,129** | **115,541** | **122,844** | **125,966** | **133,014** |

（注）表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。

## 経年比較　主な財務比率

（単位：%）

| 比率名・算出方法等 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 状況分析等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **事業活動収支差額比率**<br>〔自己資金の充実度を示す。高いほど望ましい〕<br>基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入 | 8.9 | 13.1 | 13.0 | 13.1 | 11.0 | 本学は高い水準で推移（私大平均5.4%）。引き続き教育研究活動の機動性を維持する。 |
| **基本金組入後収支比率**<br>〔低いほど将来の資金充実の目的に適う〕<br>事業活動支出／（事業活動収入－基本金組入額） | 112.9 | 123.0 | 107.8 | 86.9 | 107.1 | 大宮キャンパス整備事業が完了する2025年度までの間、高い状態で推移する見込み。 |
| **学生生徒等納付金比率**<br>〔経営上、安定的に推移することが望ましい〕<br>学生生徒等納付金／（教育活動収入計＋教育活動外収入計） | 75.3 | 75.3 | 75.6 | 73.8 | 71.4 | 推移は安定しており、他の財源（寄付金、補助金等）も合わせたより盤石な財政基盤の構築を目指す。2023年度は芝浦工大ビルの収入が寄与し比率は低下。 |
| **人件費比率**<br>〔50%以下の低い水準での推移が望ましい〕<br>人件費／（教育活動収入計＋教育活動外収入計） | 42.6 | 41.5 | 41.5 | 39.3 | 39.5 | 国際化とダイバーシティを推進しながらも、引き続きこの水準を維持していくことが課題である。2022年度より芝浦工大ビルの収入が寄与し比率は低下。 |
| **教育研究経費比率**<br>〔高いことが望ましい一方、収支均衡を図る必要あり〕<br>教育研究経費／（教育活動収入計＋教育活動外収入計） | 39.9 | 38.6 | 35.0 | 39.4 | 40.1 | 比較的高い水準で安定推移しており（私大平均36.8%）、その維持に努める。 |
| **管理経費比率**<br>〔教育研究活動以外の経費の割合。低いことが望ましい〕<br>管理経費／（教育活動収入計＋教育活動外収入計） | 7.7 | 6.2 | 7.0 | 8.4 | 8.8 | 2021年度までは私大平均（7.7%）と同程度であったが、2022年度以降はコロナ禍の終息や物価上昇などにより経費率が上昇した。今後は教育研究活動に多くの資金を振り向けることができるよう、効率化を進めていく。 |
| **流動比率**<br>〔資金流動性を示す。100%以上かつ高いことが望ましい〕<br>流動資産／流動負債 | 233.4 | 250.5 | 234.4 | 185.7 | 255.0 | 借入金返済を進めたことなどにより流動負債が減少し、高い比率となっている。2023年度末頃に60億円の借入を実施した影響で現預金が増加したため、高い比率になっている。 |
| **負債比率**<br>〔他人資金の割合。低いことが望ましい〕<br>総負債／純資産 | 10.8 | 10.1 | 14.0 | 13.7 | 17.3 | 借入金返済を進めているが、2023年度に60億円の借入金を実施したため高い比率となっている。 |
| **純資産構成比率**<br>〔50%以上で高いことが望ましい〕<br>純資産／（負債＋純資産） | 90.3 | 90.8 | 87.7 | 88.0 | 85.3 | 基本金繰入前当年度収支差額のプラスを確保し、借入金返済を進めることにより、高い比率を維持している。 |
| **基本金比率**<br>〔高いことが望ましい〕<br>基本金／基本金要組入額 | 96.5 | 97.2 | 93.9 | 94.3 | 94.6 | 借入金返済を進めており、最高限度である100%に近づいている。 |

（注）「私大平均」：令和4年度 174法人理工他複数学部の平均　（日本私立学校振興・共済事業団発行「今日の私学財政」令和5年度版より）

**【経営上の課題と今後の方針・対応方策】**

上記財務比率の示すとおり、本学の経営状況は問題なく推移しているといえます。とはいえ、大学を取り巻く厳しい経営環境のなかでは、教育研究活動のための環境整備とグローバル化などの戦略事業に対する投資を実行しつつ、将来の投資に備えた蓄えの充実を両立させていくことが必要です。

そのためには、毎年継続的な教育活動収支差額や計上収支差額上の黒字を確保し、減価償却累計額などの要積立額に対して十分な特定資産の蓄積を図ることが重要となります。

本学では、日本私立学校振興・共済事業団が定める「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」において正常値とされるＡ３区分以上を継続的に達成することを目標とし、その実現のため、収入面では学生生徒納付金の安定的確保、外部資金の獲得強化、寄付金収入の増加に向けた対応策の実施等の施策を推進します。

支出面では、戦略的投資は実行しつつ、支出に対する費用対効果について検証し、収支改善に向けた取組みを継続していきます。

# その他

## 有価証券の状況 （2024年3月31日現在）

（単位：百万円）

| 区　分 | 帳簿価格 | 時　価 | 表示科目 |
|---|---|---|---|
| 株式（㈱エスアイテック）※ | 6 | 6 | 有価証券 |
| 株式（㈱Luxonus） | 14 | 14 | |
| 国債 | 1,428 | 1,497 | 減価償却引当特定資産 |
| 事業債 | 500 | 500 | |
| **計** | **1,947** | **2,016** | |

※本学出資会社㈱エスアイテックに係るものであり、資金運用を目的に保有するものではありません。

## 借入金の状況 （2024年3月31日現在）

（単位：百万円）

| 借入先 | 借入残高 | 利率 | 返済期限 | 使途等 |
|---|---|---|---|---|
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 3,500 | 0.50 ～ 1.80% | 2034年2月 | 校舎取得･整備、教育環境整備 |
| みずほ銀行 | 2,554 | 0.30 ～ 1.42% | 2034年3月 | 土地取得、校舎取得･整備 |
| 三井住友銀行 | 3,854 | 0.30 ～ 1.42% | 2034年3月 | 土地取得、校舎取得･整備 |
| 三菱UFJ銀行 | 2,165 | 0.30 ～ 0.95% | 2034年3月 | 校舎取得･整備 |
| **計** | **12,073** | | | |

## 寄付金の状況 （2024年3月31日現在）

（単位：百万円）

| 区　分 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| **特別寄付金** | **343** | **426** | **313** | **422** | **413** |
| 周年記念事業寄付 | 32 | 11 | 87 | 138 | 78 |
| 研究奨励寄付 | 92 | 61 | 75 | 93 | 118 |
| 上記以外の使途特定寄付 | 219 | 354 | 150 | 191 | 217 |
| **現物寄付** | **39** | **54** | **99** | **259** | **165** |
| **計** | **382** | **480** | **411** | **681** | **577** |

## 大学教育改革支援経費等の受入状況

（単位：百万円）

| 区　分 | | 取組名称 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大学教育再生戦略推進 | 件数(※1) | 大学の世界展開力強化事業（アジア高等教育共同体（仮称）形成促進） | | | 1 | | |
| | 金額 | | | | 3 | 4 | 4 |
| 地方創生支援事業費補助金 | 件数(※2) | 地方と東京圏の大学生対流促進事業 | 1 | | | | |
| | 金額 | | 17 | | | | |
| 国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学創成支援） | 件数(※3) | スーパーグローバル大学創成支援（タイプBグローバル牽引型） | | | | | |
| | 金額 | | 45 | 42 | 44 | 40 | 35 |
| 地（知）の拠点整備事業（大学COC事業） | 件数(※4) | 「まちづくり」「ものづくり」を通した人材育成推進事業 | | | | | |
| | 金額 | | | 2 | | | |
| 大学改革推進等補助金 | 件数(※5) | 大学教育再生加速プログラム | | | | | |
| | 金額 | | 10 | | | | |
| 研究拠点形成費等補助金 | 件数(※6) | 成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 | | | | | |
| | 金額 | | 5 | 4 | | | |
| 大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業） | 件数(※7) | デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン | | 1 | | | |
| | 金額 | | | 94 | | | |
| 天然ガス利用設備導入支援事業費補助金 | 件数(※8) | 災害時における生活環境の確保に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金 | | 1 | | | |
| | 金額 | | | 53 | | | |
| さいたま市脱炭素移行共創推進交付金 | 件数(※9) | 2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けた各種取組の推進 | | | | | 1 |
| | 金額 | | | | | | 42 |
| 人材育成推進事業費補助金 | 件数(※10) | 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業 | | | | | 1 |
| | 金額 | | | | | | 8 |
| 大学・高専成長分野転換支援基金助成金 | 件数(※11) | 学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援 | | | | | 1 |
| | 金額 | | | | | | 7 |
| 住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資推進事業費（ZEB補助金） | 件数(※12) | 芝浦工業大学大宮キャンパス新施設ZEB化事業 | | | | | 1 |
| | 金額 | | | | | | 2 |
| 学校保健特別対策事業費補助金 | 件数(※13) | 感染症流行下における学校教育活動体制整備事業 | | | | | 2 |
| | 金額 | | | | | | 1 |
| **合計** | | | **77** | **196** | **47** | **44** | **100** |

※1　「大学の世界展開力強化事業」は、2021年度から4ヵ年度に及ぶ採択です。
※2　「地方と東京圏の大学生対流促進事業」は、2018年度から4ヵ年度に及ぶ採択です。
※3　「スーパーグローバル大学創成支援」は、2014年度から10ヵ年度に及ぶ採択です。
※4　「「まちづくり」「ものづくり」を通した人材育成　推進事業」は、2013年度から5ヵ年度に及ぶ採択です（2020年度は2017年度事業分として受入）。
※5　「大学教育再生加速プログラム」は、2014年度から5ヵ年度に及ぶ採択です。
※6　「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成」は、2017年度から5ヵ年度に及ぶ採択です。
※7　「デジタル活用教育高度化事業」は、単年度での採択です。
※8　「災害時における生活環境の確保に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金」は、単年度での採択です。
※9　「さいたま市脱炭素移行共創推進交付金」は、2023年度から8ヵ年度に及ぶ採択です。
※10　「人材育成推進事業費補助金」は、単年度での採択です。
※11　「大学・高専成長分野転換支援基金助成金」は、2023年度から原則8ヵ年度（最長10ヵ年度）に及ぶ採択です。
※12　「住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資推進事業費」は、2023年度から3ヵ年度に及ぶ採択です。
※13　「学校保健特別対策事業費補助金」は、単年度での採択です。

## 研究費等外部資金獲得状況

＜科学研究費＞

（単位：百万円）

| 区　分 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科学研究費（件数） | 132 | 137 | 150 | 176 | 167 |
| **金額（計）** | **249** | **245** | **247** | **287** | **290** |

（注）科学研究費は研究者等に直接交付される補助金であり、学校会計の帰属収入には含まれず、またここから支出される経費も学校会計の諸支出には含まれません。上記は、本学教員が研究代表者となっている件数と金額（直接経費）です

＜競争的資金（国プロ）＞

（単位：百万円）

| 区　分 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 競争的資金（件数） | 58 | 51 | 61 | 56 | 63 |
| **契約額（計）** | **300** | **256** | **410** | **569** | **735** |

（注）複数年にまたがる契約は年度ごとに1件として集計しています。

＜受託・共同研究＞

（単位：百万円）

| 区　分 | 2018年度 | 2019年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 受託・共同研究（件数） | 275 | 289 | 238 | 246 | 270 |
| **契約額（計）** | **294** | **272** | **270** | **283** | **403** |

（注）複数年にまたがる契約は初年度に1件として集計しています。

## 関連する法人の概要　（2024年3月31日現在）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 会社名 | 株式会社エスアイテック | | 所在地 | 東京都江東区豊洲3－7－5　芝浦工業大学内 | |
| 代表者名 | 代表取締役　中本　仁 | | 設立年月日 | 1998年6月30日 | |
| 従業員数 | 35人 | 役員数 | 5人（うち2人は学校法人の役員（理事・監事）が兼務） | | |
| 定款上の目的 | 警備業務、清掃業務、建物・設備の保守管理業務　　書籍、教材、文具、事務機器等の販売<br>有料職業紹介業　損害保険代理業　その他 | | | | |
| 事業内容 | 翻訳・印刷業、建設業、警備・清掃・保守管理業、人材派遣業、損害保険・生命保険代理店業、リース事業、特別販売事業、イベント企画事業、その他 | | | | |
| 学校の行う<br>教育研究活動との関連 | 1）学校法人への寄付（これまでに約13億30百万円の寄付を行う）<br>2）キャンパスライフ総合保険代理店窓口としてのサービス<br>3）研究室機器、備品、事務用機器等の販売<br>4）事務職員等の人材派遣 | | | | |
| 資本金額 | 20百万円（200株） | | | | |
| 出資割合 | 学校法人の持株数 | 100株 | その他の出資者の持株数<br>（大学後援会60株・校友会40株） | | 100株 |
| 事業の概要<br>2023年6月期 | 売上高 | 当期損益<br>（法人税等控除後） | 出資元学校法人への<br>寄付金額 | 家賃・地代等 | 配当金 |
| | 2,720百万円 | 23百万円 | 121百万円 | 6百万円 | 0円 |

## 参考　財産目録の概要（2024年3月31日現在）

### 1. 財産目録（総括）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 資産総額 | 134,393百万円 | 内 | 基本財産 | 77,981百万円 |
| 負債総額 | 20,994百万円 | | 運用財産 | 51,402百万円 |
| 正味財産 | 113,399百万円 | | 収益事業用財産 | 5,009百万円 |

### 2. 資産　134,393百万円

**① 基本財産　77,981百万円**

**1）土地**

| 地区 | 所在地 | 面積（百㎡） | 価額（百万円） |
|---|---|---|---|
| 豊洲地区 | 東京都江東区豊洲３丁目７番５号 | 300 | 8,821 |
| 大宮地区 | 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番他 | 1,708 | 1,902 |
| 新豊洲地区 | 東京都江東区豊洲６丁目２番７号 | 145 | 6,228 |
| 柏地区 | 千葉県柏市増尾700番他 | 448 | 1,228 |
| 熱海地区 | 静岡県熱海市咲見町９丁目18 | 12 | 241 |
| その他 | 埼玉県さいたま市西区大字二ツ宮113番１号他 | 1 | 9 |
| その他 | 福岡県うきは市吉井町千年字角間後616番他 | 14 | 8 |
| **計** | | **2,629** | **18,437** |

**2）建物**

| 地区 | 面積（百㎡） | 価額（百万円） |
|---|---|---|
| 豊洲地区 | 1,018 | 35,016 |
| 大宮地区 | 651 | 8,227 |
| 新豊洲地区 | 181 | 4,934 |
| 柏地区 | 158 | 1,420 |
| 熱海地区 | 27 | 621 |
| その他 | 1 | 4 |
| **計** | **2,036** | **50,223** |

**3）図書**

| 種別 | 冊数（千冊） | | | 価額（百万円） |
|---|---|---|---|---|
| | 内国書 | 外国書 | 計 | |
| 図書 | 262 | 15 | 277 | 1,124 |
| 学術雑誌 | 14 | 10 | 24 | 39 |
| **計** | **276** | **25** | **302** | **1,163** |

**4）教具・校具及び備品**

| 名称又は種類 | 数量（千点） | 価額（百万円） |
|---|---|---|
| 教具・校具 | 60 | 3,264 |
| 備品 | 5 | 957 |
| **計** | **65** | **4,221** |

**5）その他**

| 種類 | 主な内容 | 金額（百万円） |
|---|---|---|
| 構築物 | 各校舎の給排水施設、緑化施設など | 2,656 |
| 車両 | 自動搬送ロボット、大型バスなど（42台） | 17 |
| 電話加入権 | 88本 | 8 |
| 施設利用権 | 予備電力供給施設など | 9 |
| 敷金及び保証金 | 東大宮学生寮敷金など | 22 |
| 建設仮勘定 | 大宮キャンパスマスタープラン設計業務委託料など | 1,226 |
| **計** | | **3,938** |

## ② 運用財産　51,402百万円

### 1）預金

| 預金種別 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 普通預金 | 10,198 |
| 通知預金 | 2,120 |
| 振替貯金 | 590 |
| **計** | **12,908** |

### 2）現金等

| 種別 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 手許現金、郵便切手 | 2 |
| **計** | **2** |

### 3）積立金

| 内訳 | 金額（百万円） | 保有形態 | |
|---|---|---|---|
| | | 種別 | 金額（百万円） |
| 第３号基本金引当特定資産 | 4,432 | 普通預金 | 4,432 |
| 上記以外の特定目的引当特定資産 | 32,227 | 普通預金 | 29,799 |
| | | 定期預金 | 500 |
| | | 有価証券 | 1,928 |
| **計** | **36,659** | | **36,659** |

（注）各引当資産の運用は、「保有形態」欄記載の金融商品によっています。

### 4）有価証券

| 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 「㈱エスアイテック」普通株式100株 | 6 |
| 「㈱Luxonus」A種優先株式166株 | 14 |
| **計** | **19** |

### 5）長期貸付金

| 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 芝浦工業大学貸与奨学金 | 729 |
| 芝浦工業大学後援会貸与奨学金 | 12 |
| 徴収不能引当金など | △ 139 |
| **計** | **602** |

### 6）未収入金

| 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 学生生徒等納付金、国庫補助金、私学退職金団体交付金他 | 1,198 |
| **計** | **1,198** |

### 7）前払金

| 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 長期前払金 | 5 |
| 短期前払金 | 8 |
| **計** | **13** |

### 8）立替金

| 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 立替金 | 2 |
| **計** | **2** |

## ③ 収益事業用財産　5,009百万円

### 1）預金

| 預金種別 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 普通預金 | 1,269 |
| **計** | **1,269** |

### 2）未収入金

| 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 不動産賃貸収益 | 422 |
| **計** | **422** |

### 3）土地

| 地　区 | 所在地 | 面積（百㎡） | 価額（百万円） |
|---|---|---|---|
| 芝浦地区 | 東京都港区芝浦３丁目９番１４号 | 26 | 395 |
| **計** | | **26** | **395** |

### 4）建物

| 地　区 | 所在地 | 面積（百㎡） | 価額（百万円） |
|---|---|---|---|
| 芝浦地区 | 東京都港区芝浦３丁目９番１４号 | 125 | 2,909 |
| **計** | | **125** | **2,909** |

### 5）構築物

| 預金種別 | 金額（百万円） |
|---|---|
| 給排水施設、交通施設、緑化施設など | 14 |
| **計** | **14** |

| 3. 負債 | 20,994 百万円 |
|---|---|

| ① 固定負債 | | | | | **14,080百万円** |
|---|---|---|---|---|---|
| 1）長期借入金 | 種類 | 金額（百万円） | 利率 | 返済期限 | 使途等 |
| | 日本私立学校振興・共済事業団 | 3,000 | 0.50% | 2034年2月18日 | 教育環境整備資金 |
| | 市中金融機関 | 7,836 | 0.30% ～ 1.42% | 2034年3月31日 | 校地・校舎取得、整備資金 |
| | **計** | **10,836** | | | |

| 2）退職給与引当金 | 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|---|
| | 退職給与引当金 | 3,244 |
| | **計** | **3,244** |

| ② 流動負債 | | | | **5,536 百万** |
|---|---|---|---|---|
| 1）短期借入金（長期借入金の内1年以内の返済分） | 種類 | 金額（百万円） | 利率 | 使途等 |
| | 日本私立学校振興・共済事業団 | 500 | 1.70% ～ 1.80% | 校舎取得、整備資金 |
| | 市中金融機関 | 736 | 0.3% ～ 1.42% | 校地・校舎取得、整備資金 |
| | **計** | **1,236** | | |

| 2）前受金 | 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|---|
| | 学費前受金 | 3,115 |
| | 学費以外の前受金 | 29 |
| | **計** | **3,144** |

| 3）未払金 | 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|---|
| | 未払金 | 495 |
| | **計** | **495** |

| 4）預り金 | 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|---|
| | 教職員関係預り金（源泉税、住民税他） | 160 |
| | 学生生徒関係預り金（各種代理徴収金他） | 306 |
| | その他の預り金 | 194 |
| | **計** | **660** |

| ③ 収益事業用負債 | | **1,378 百万** |
|---|---|---|
| 1）未払金 | 内訳 | 金額（百万円） |
| | 未払金 | 585 |
| | **計** | **585** |

| 2）預り敷金 | 内訳 | 金額（百万円） |
|---|---|---|
| | 預り敷金 | 794 |
| | **計** | **794** |

| 4. 正味財産 | 113,399 百万円 |
|---|---|

（注）表中の数字が四捨五入されている場合、合計は数値の総和と必ずしも一致しません。